

ZŪMO XT3

操作マニュアル

目次

はじめに	1
デバイス概要.....	1
デバイスの電源をオンまたはオフにする.....	1
タッチスクリーンをロック / ロック解除する	1
GPS 信号を捕捉する.....	2
ステータスバーのアイコン.....	2
タッチキーを使用する.....	2
音量を調整する.....	2
オーディオミキサーを使用する.....	3
画面の輝度を調整する.....	3
取り付け方法	4
デバイスをモーターサイクルに取り付ける.....	4
電源付きモーターサイクルマウント.....	4
ハンドルバーベースを取り付ける.....	5
デバイスをモーターサイクルマウントに取り付 ける.....	6
デバイスをモーターサイクルマウントから取り 外す.....	6
安全運転支援機能	7
運転者アラートを有効または無効にする.....	7
赤信号カメラとスピードカメラ.....	7
事故検出と通知.....	7
緊急連絡先を設定する.....	8
事故通知をキャンセルする.....	8
事故通知機能を無効にする.....	8
inReach リモート	8
inReach デバイスを接続する.....	8
SOS.....	9
SOS 救助要請を送信する.....	9
SOS 救助要請を取り消す.....	9
Garmin Messenger アプリ	9
Garmin Messenger アプリを使用する.....	10
Garmin Messenger アプリで投稿を作成する.....	10
Garmin Messenger アプリでメッセージを削除 する.....	11
目的地へのナビゲーション	12
ルート.....	12
ナビゲーションを開始する.....	12
Garmin Adventurous Routing 機能でルート を計算する.....	12
地図上の任意の地点へのナビゲーションを 開始する.....	12

自宅へ戻る.....	13
ルートを計画する	13
地図上のルート表示の見かた	14
方向転換と進路を表示する.....	14
地図にルート全体を表示する.....	14
目的地に到着する	15
ライド概要.....	15
ナビゲーション中のルートを変更する	15
ルートに経由地を追加する.....	15
ルートを形成する.....	15
迂回路を検索する.....	15
ナビゲーションを停止する	16
交通遅延、有料道路、エリアを回避する	16
ルート上の交通遅延を回避する.....	16
道路の特徴を指定して回避する.....	16
有料道路を回避する.....	16
カスタム回避.....	16
燃料計	17
燃料計を有効にする.....	17
燃料残量警告を設定する.....	17
燃料消費量の予測をリセットする.....	17
燃料給油案内を有効にする.....	17
地図	18
地図ツール	18
地図ツールを表示する.....	18
コースポイント	19
この先の場所を表示する.....	19
コースポイントツールのカテゴリーをカスタ マイズする.....	19
トリップ情報	19
地図にトリップデータを表示する.....	19
トリップ情報ページを確認する.....	19
トリップ情報をリセットする.....	19
交通情報を確認する	20
地図をカスタマイズする	20
地図レイヤーをカスタマイズする.....	20
Outdoor Maps+ のコンテンツをダウンロード する.....	20
コレクションを地図に表示する.....	21
地図データ項目を変更する.....	21
地図のショートカットメニューを変更する.....	21
地図表示方法を変更する.....	21
地図リージョンを変更する.....	21
目的地検索	22

主要ポイント一覧	22	アプリケーション	32
検索バーで場所を検索する	22	Garmin Performance	32
カテゴリを選択して場所を検索する	22	Garmin Performance Package サブスクリプションを購入する	32
目的地検索の結果	22	サーキット走行セッションを開始する	33
検索エリアを変更する	23	ドラッグレースセッションを開始する	34
駐車場	23	リーニング角	34
現在地周辺の駐車場を検索する	23	グループライド	35
指定した場所の周辺の駐車場を検索する	24	モバイルグループライドを開始する	35
検索ツール	24	グループライドに参加する	35
住所を検索する	24	最近のグループライドに再参加する	35
交差点を検索する	24	グループライドを終了する	35
座標を使用して場所を検索する	24	グループライド設定	35
最近検索した場所を表示する	24	ミュージックプレーヤー	35
最近検索した場所のリストを消去する	24	地図にミュージックプレーヤーツールを追加する	35
現在地情報を表示する	24	メディアソースを変更する	36
緊急サービスとガソリンスタンドを検索する	25	軌跡	36
現在地への道順を表示する	25	軌跡を記録する	36
ショートカットを追加する	25	TracBack	36
ショートカットを削除する	25	出発地点へ戻る(トラックバック)	36
場所を保存する	25	最新の軌跡をルートとして保存する	36
検索した場所を保存する	25	地図上に交通情報を表示する	37
現在地を保存する	25	交通事故情報を検索する	37
保存した場所を編集する	25	天気情報を確認する	37
保存済みのアイテムを確認する	26	ルートと目的地の履歴を表示する	37
保存済みのアイテムを共有する	26	設定	38
Garmin アカウントデータを同期する	26	スマートフォン&ヘッドセット設定	38
車両プロファイル	28	スマートフォン設定	38
車両プロファイルを切り替える	28	ヘッドセット設定	38
車両プロファイルを追加する	28	Wi-Fi 設定	38
車両プロファイルを編集する	28	地図設定	38
ライブサービス、交通情報、およびスマートフォン連携機能	29	ナビゲーション設定	38
スマートフォンとペアリングする	29	交通情報設定	39
ワイヤレスヘッドセットをペアリングする	29	シミュレーションモードで現在地を設定する	39
スマート通知	29	安全運転支援の設定	39
通知を受信する	29	ディスプレイ設定	39
通知のリストを表示する	30	システム設定	40
ハンズフリー通話	30	位置フォーマット設定	40
電話をかける	30	時刻設定	40
通話中オプションを使用する	31	デバイスおよびプライバシー設定	40
Bluetooth デバイスの接続をオフにする	31	画面ロック機能を有効にする	40
スマートフォンとのペアリングを解除する	31	設定を初期化する	41

データ管理	42
メモリーカードについて	42
メモリーカードを挿入する	42
デバイスを PC に接続する	42
PC から GPX ファイルを転送する	42
PC からデータを転送する	42
USB ケーブルを取り外す	43
デバイス情報	44
電子ラベルの規制および準拠情報を確認する ..	44
仕様	44
充電要件	44
デバイスを充電する	44
デバイスのメンテナンス	45
Garmin オンラインサポートセンター	45
地図とソフトウェアの更新	45
Wi-Fi ネットワーク経由で地図とソフトウェア を更新する	45
Garmin Express で地図とソフトウェアを更新 する	46
お取り扱い上の注意事項	47
アウターケースのクリーニング	47
タッチスクリーンのクリーニング	47
デバイスを再起動する	47
トラブルシューティング	48
衛星信号を受信できません	48
デバイスとスマートフォンが接続できません ..	48
デバイスから緊急連絡先に連絡できません	48
バッテリーの稼働時間を長くするには	48
デバイスが、PC のポータブルデバイス、リムー バブルドライブ、ボリュームのいずれとしても 表示されません	48
商標について	50

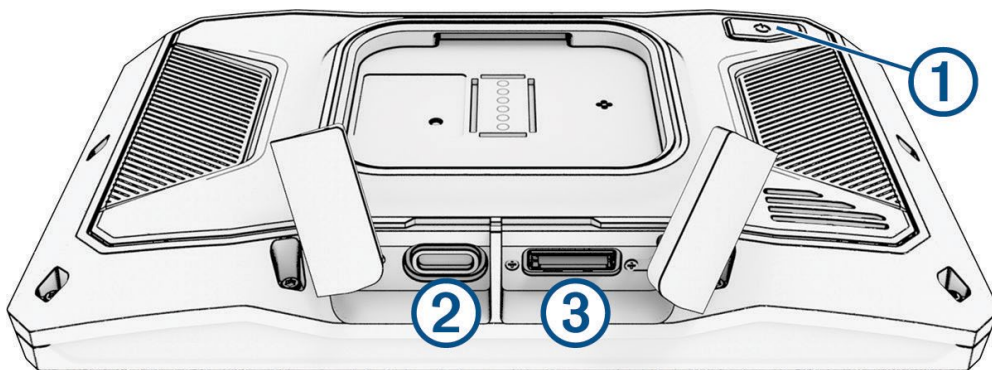
はじめに

⚠警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

- 1 Wi-Fi® ネットワークに接続します。(任意) (45 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))
- 2 スマートフォンとヘッドセットを Bluetooth® 接続でペアリングします。(任意) (29 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))
- 3 デバイスの地図とソフトウェアを更新します。(45 ページ [地図とソフトウェアの更新](#))
- 4 GPS 信号を捕捉します。(2 ページ [GPS 信号を捕捉する](#))
- 5 デバイスを取り付けて、電源に接続します。(4 ページ [取り付け方法](#))
- 6 画面の輝度を調整します。(3 ページ [画面の輝度を調整する](#))
- 7 目的地までのナビゲーションを実行します。(12 ページ [ナビゲーションを開始する](#))

デバイス概要



①	電源ボタン
②	USB-C® ポート
③	microSD® メモリーカードスロット

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源ボタンを押すか、デバイスを電源に接続します。
- デバイスを節電モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源ボタンを押します。節電モード中は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。**ヒント**：バッテリーの充電中にデバイスを節電モードにすると、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源ボタンを長押しし、**【電源オフ】**を選択します。5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは節電モードに移行します。

タッチスクリーンをロック / ロック解除する



タッチスクリーンをロックして、ライド中の不要な操作を防止できます。降雨時など、タッチスクリーンが反応する可能性がある状況で役立つ機能です。

- タッチスクリーンをロックするには、画面にタッチスクリーンロックのメッセージが表示されるまで電源ボタンを長押しし、**【タッチスクリーンロック】**を選択します。5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源ボタンを離すと、デバイスは節電モードに移行します。
- タッチスクリーンのロックを解除するには、電源ボタンを押します。

GPS 信号を捕捉する









ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の捕捉に要する時間は、最後にデバイスを使用した場所からの距離、上空の開けた場所にいるかどうか、最後にデバイスを使用してからのどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の捕捉に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 上空の開けた場所で静止して衛星信号の受信を完了します。
- 3 必要に応じて、高いビルや木の近くを避け、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションを実行できます。 を **タップ** すると、現在の測位精度などの詳細情報を確認できます。








ステータスバーのアイコン

ステータスバーはメインメニューの上部に配置されています。ステータスバーのアイコンは、デバイスの各種機能に関する情報を示します。一部のアイコンを **タップ** すると、設定を変更したり詳細情報を確認できます。



	GPS 信号ステータス タップ：測位精度と捕捉中の衛星情報を確認できます。
	Bluetooth 接続ステータス タップ：Bluetooth 設定を表示します。(38 ページ スマートフォン&ヘッドセット設定)
	Wi-Fi 信号強度 タップ：Wi-Fi 設定を表示します。(38 ページ Wi-Fi 設定)
	ハンズフリー通話に接続済み タップ：電話を発信します。(30 ページ ハンズフリー通話)
	現在の車両プロファイル タップ：車両プロファイル設定を表示します。
9:10	現在時刻 タップ：時刻設定を表示します。(40 ページ 時刻設定)
	バッテリー充電レベル
	Tread アプリの接続ステータス (29 ページ スマートフォンとペアリングする)
17°C	気温 タップ：天気予報を表示します。(37 ページ 天気情報を確認する)
	燃料のステータス タップ：燃料計の情報を表示します。(17 ページ 燃料計)

タッチキーを使用する

タッチキーを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューオプションを操作できます。

-  を **タップ**：前のメニュー画面に戻ります。
-  を **長押し**：メインメニューにすばやく戻ることができます。
-  または  を **タップ**：リストやメニューをスクロールします。
-  または  を **長押し**：スクロール速度が速くなります。
-  を **タップ**：現在の画面に対応するオプションのコンテキストメニューが表示されます。


音量を調整する

- 1  を選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - スライダーバーで、音量を調整します。
 - デバイスをミュート(消音)にするには、 を選択します。


- ・ チェックボックスを選択して、詳細なサウンドオプションを有効または無効にします。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションの音声案内や通話などのタイプごとに音量を設定できます。各タイプの音量は、マスター音量に対するパーセンテージで設定します。

- 1  を選択します。
- 2 **[オーディオミキサー]** を選択します。
- 3 スライダーを使用して、各タイプの音量を調整します。

画面の輝度を調整する

- 1  > **[ディスプレイ]** の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

取り付け方法

デバイスをモーターサイクルに取り付ける

電源付きモーターサイクルマウント

⚠警告

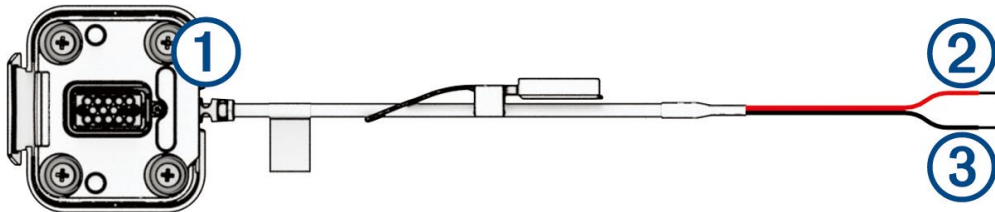
本製品を安全にご使用いただくために、同梱の「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

デバイスの取り付けは、電気システムに関する適切かつ専門的な知識を持った技術者に作業を依頼することを強く推奨します。電源ケーブルを誤って配線すると、車両やバッテリー、本製品を損傷するおそれがあり、さらに人身事故につながる可能性があります。

注意

本製品およびモーターサイクルマウントは分解しないでください。分解すると、本製品またはマウントを損傷するおそれがあります。

安全な経路でケーブルを配線して、安全を確保できるモーターサイクル上の適切な位置にデバイスを取り付けてください。



①	モーターサイクルマウントコネクタ
②	10～30V DC のシステム電源のプラス側(赤)
③	システム電源のマイナス側(黒)

注意：同梱の取り付け用部品を使用することで、幅広い設置や配線が可能になっています。詳しい車両への取り付け方法に関しては、車両販売店等にお問い合わせください。

圧着式リング端子：ワイヤーハーネスをバッテリー端子に直接接続します。

ケーブルタイ：ケーブルを自動二輪のフレームに固定します。

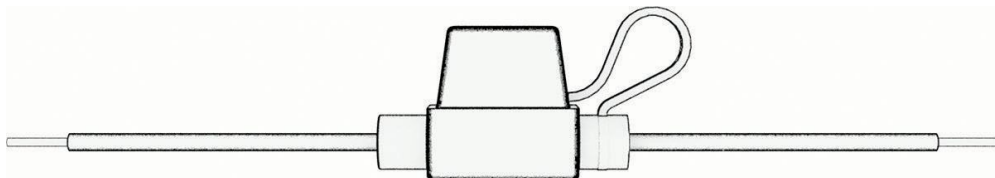
インラインヒューズケーブル：ナビゲーションデバイスを過度の電流から保護します。(4 ページ [インラインヒューズケーブル](#))

インラインヒューズケーブル

⚠警告

インラインヒューズケーブルの取り付けは、電気システムに関する適切かつ専門的な知識を持った技術者に作業を依頼することを強く推奨します。電源ケーブルまたはインラインヒューズケーブルの配線を誤ると、車両またはバッテリーを損傷したり、けがの原因となる可能性があります。

多くの場合、過剰な電流から本製品を保護するために、付属のインラインヒューズケーブルを電源ケーブルに取り付ける必要があります。



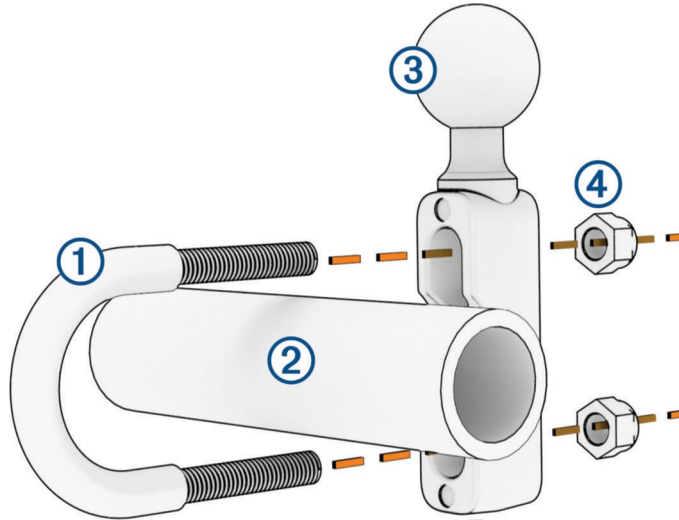
- 電源ケーブルを車両のバッテリーに直接接続する場合は、付属のインラインヒューズケーブルを取り付ける必要があります。
- 電源ケーブルを、適切なヒューズまたは保護回路がすでに取り付けられているアクセサリ電源またはバスバーに接続する場合は、付属のインラインヒューズを取り付ける必要はありません。
- インラインヒューズケーブルを取り付ける際は、付属のスプライスコネクタを使用して、赤色のシステム電源線に接続してください。

ハンドルバーベースを取り付ける

ハンドルバーベースは、2通りの方法で取り付けることができます。カスタムマウントには、追加のハードウェアが必要です。

ハンドルバーベースをUボルトで取り付ける

1 Uボルト①をハンドルバー②を挟むように置き、先端をハンドルバーベース③に通します。

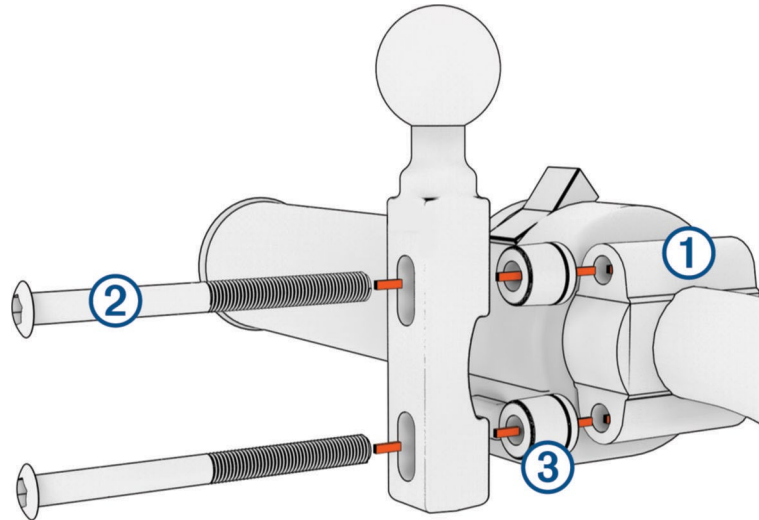


2 ナット④を締めてベースを固定します。

推奨トルクは 5.65 N-m (50 lbf-in) です。トルクが 9.04 N-m (80 lbf-in) を超えないようにしてください。

ハンドルバーベースをクラッチクランプまたはブレーキクランプに取り付ける

1 クラッチクランプまたはブレーキクランプのブラケット①に付いている2本のボルトを取り外します。



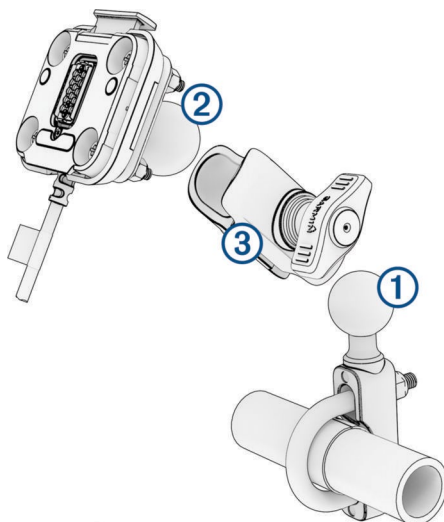
注意：1/4 インチ規格ボルトと M6 ボルトの両方が付属しています。クラッチクランプまたはブレーキクランプブラケットの純正ボルトと同じサイズを使用してください。

2 新しいボルト②を、ハンドルバーベース、スペーサー③、クラッチクランプまたはブレーキクランプのブラケットの順に通します。

3 ボルトを締めてハンドルバーベースを固定します。

ハンドルバーベースにベースプレートを取り付ける

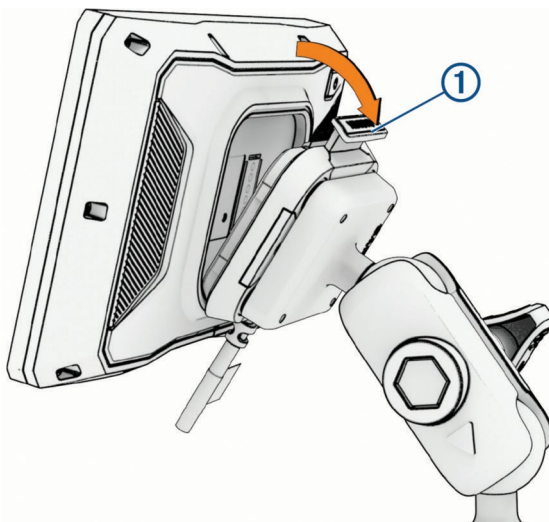
1 ハンドルバーベースのボール部分①とベースプレートのボール部分②を、ダブルソケットアーム③のそれぞれの端に合わせます。



- 2 ハンドルバーベースのボール部分①とベースプレートのボール部分②を、ダブルソケットアーム③にはめ込みます。
- 3 ノブを少し締めます。
- 4 見やすさと操作のしやすさを考慮して、位置を調整します。
- 5 ノブを締めてマウントを固定します。

デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける

- 1 デバイスの底面をクレードルに合わせます。



- 2 デバイスの上側を、所定の位置に固定されるまで押し込みます。
デバイスを挿入した後、マウントのラッチ①は上がったままになります。

デバイスをモーターサイクルマウントから取り外す

- 1 マウントの上部にあるラッチを押します。
- 2 デバイスを持ち上げて外します。

安全運転支援機能

△注意

運転者アラートと制限速度機能は、情報提供のみを目的としています。あらゆる速度制限に関する道路標識を遵守し、いかなる時も安全な判断をすることは運転者自身の責任であり、この機能はそれに代わるものではありません。Garmin は、実際の交通法規や条例に違反したときの反則金や出頭命令に対して責任を負うものではありません。

このデバイスは、運転の安全性向上に役立つ機能を備えており、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも役立ちます。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。ユーザーは、アラートの種類ごとに通知音または音声メッセージを有効または無効にすることができます。地域によっては、利用できないアラートもあります。

スクールゾーンまたは近くに学校：通知音が鳴り、この先の学校やスクールゾーンまでの距離と制限速度(利用可能な場合)が表示されます。

制限速度低下：通知音が鳴り、この先の制限速度低下を表示するため、速度を下げる準備ができます。

スピード超過アラート：現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、赤枠付きの速度制限アイコンが表示されます。

踏切：通知音が鳴り、この先の踏切までの距離が表示されます。

動物出没：通知音が鳴り、この先の動物出没区域までの距離が表示されます。

カーブ：通知音が鳴り、走行中の道路の次のカーブまでの距離が表示されます。


渋滞：渋滞区間にいる車両よりも速いスピードで走行しているときに渋滞に近づくとき、通知音が鳴り、渋滞までの距離が表示されます。この機能を使用するには、デバイスで交通情報を受信する必要があります。

注意：この機能は、2026年6月現在、日本国内では利用できません。

休憩の計画：停車せずに2時間以上連続して運転すると、通知音が鳴り、この先の休憩場所が提案されます。

運転者アラートを有効または無効にする

運転者アラートの通知音を個別にオフにすることができます。通知音をオフにした場合でも、アラートは画面に表示されます。

- 1  > [安全運転支援] > [運転者アラート] の順に選択します。
- 2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注意

Garmin は、赤信号カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用によって生じた結果に対して一切の責任を負いません。

有料サブスクリプションに対応した一部の製品モデルでは、地域によって赤信号カメラやスピードカメラの位置情報を利用できます。登録されているカメラ地点に近づくとき、デバイスが通知します。

- 一部の地域では、対応のスマートフォンで Tread アプリを起動し、デバイスと接続すると、赤信号カメラとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express ソフトウェア (Garmin.com/express) または Tread アプリを使用して、デバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。常に最新のカメラ情報を利用するために、デバイスの更新は頻繁に行ってください。

事故検出と通知

△警告

このデバイスでは、緊急連絡先にユーザーの位置情報を送信することができます。これは補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Tread アプリがユーザーに代わって救急医療機関等への連絡や救助の要請を行うことはありません。

注意

この機能を利用するには、Bluetooth 機能を使って Tread アプリに接続する必要があります。また、あらかじめ Tread アプリで緊急連絡先を登録することができます。

この機能を利用するには、付属のマウントまたは USB ケーブルを使用して、デバイスを互換性のある外部電源に

接続する必要があります。


zūmo デバイスは、内蔵のセンサーを使用して車両事故の可能性を検知します。

- 緊急連絡先を設定した場合、デバイスが事故を検知し、車両が停止すると自動テキストメッセージがその連絡先に送信されます。運転手が電話をかけたりメッセージを送信できない場合、その連絡先に状況を通知することができます。この機能を利用するには、デバイスと Tread アプリの Bluetooth 接続が有効で、お使いのスマートフォンがデータ通信を利用できる環境である必要があります。
- 緊急連絡先を設定していない場合に事故が検知されると、デバイスに最も近い住所または地理座標が自動的に表示されます(可能な場合)。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。
- inReach 衛星通信対応デバイスが zūmo デバイ스에接続されている場合に zūmo デバイスで事故が検知されると、SOS を手動で送信できます。

緊急連絡先を設定する

緊急連絡先を設定するには、あらかじめナビゲーションデバイスを Tread アプリにペアリングする必要があります。(29 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

緊急連絡先の設定中は、デバイスから Tread アプリとスマートフォンの電話帳にアクセスできる必要があります。緊急連絡先は、zūmo デバイスとペアリングされたスマートフォン内に連絡先として実際に存在している必要があります。

- 1 スマートフォンの Tread アプリから、 > **[設定]** > **[緊急支援]** > **[続行]** の順に選択します。
- 2 利用規約を読み、同意します。
注意：この機能を使用するには、利用規約に同意する必要があります。
- 3 **[緊急連絡先を追加]** を選択します。
スマートフォンの連絡先のリストが表示されます。
- 4 連絡先を選択します。
- 5 **[インポート]** > **[保存]** の順に選択します。
- 6 画面に表示される指示に従って操作し、連絡先に緊急連絡先として追加したことを通知するメッセージを送信します。
注意：事故の通知メッセージには、入力した名前やニックネームが含まれますが、ユーザーの電話番号は送信されません。このメッセージはサードパーティのサービスを使用して送信されるため、緊急連絡先には知らない番号からメッセージが送信されることをあらかじめ通知してください。


事故通知をキャンセルする

デバイスが事故を検知すると、メッセージおよび音声により緊急連絡先に事故通知が送信されることが通知されます。事故を検知すると 60 秒のタイマーがカウントダウンを始め、タイマーが切れると事故通知が自動的に送信されます。事故通知を送信しない場合は、キャンセルすることができます。

タイマーが切れる前に、**[キャンセル]** を選択します。

事故通知機能を無効にする


事故通知が無効になっていると、デバイスは事故を検出しても SMS 通知を送信しません。

- 1  > **[安全運転支援]** の順に選択します。
- 2 **[自動事故検出]** のチェックボックスをオフにします。

inReach リモート

zūmo デバイスで inReach 衛星通信対応デバイス(別売)をリモート操作し、メッセージの送信、天気情報の表示、SOS アラートの発信などを行うことができます。inReach 衛星通信対応デバイスは、Garmin.co.jp からお問い合わせいただけます。

inReach デバイスを接続する

- 1 inReach デバイスと zūmo デバイスの距離を 3 m(10 ft.)以内に近づけます。
 - 2 zūmo デバイスで、 > **[inReach]** の順に選択します。
 - 3 zūmo デバイスの画面に表示される指示に従って操作し、ペアリングを完了します。
- ペアリングが完了すると、inReach デバイスと zūmo デバイスが通信範囲内にあるときは自動で接続されます。

△警告

SOS 機能をデバイスで利用するには、衛星サブスクリプションプランが有効になっている必要があります。デバイスを実際に使用する前には必ずデバイスの通信をテストしてください。

SOS 機能を使用するには、衛星との通信が必要です。上空の開けた場所にいることを確認してください。

注意

一部の国または地域では、衛星通信デバイスの使用が規制または禁止されています。ユーザーの責任において、衛星通信デバイスを使用する地域で適用されるすべての法律を把握し、遵守してください。



緊急時に、デバイスにペアリング済みの inReach 衛星コミュニケーターで Garmin 応答センターに連絡して救助を要請できます。SOS 機能を使用すると Garmin 応答センターの対応チームにメッセージが送信され、あなたの状況に応じた緊急対応サービスに情報を提供します。救助が到着するまで、Garmin 応答センターの対応チームと連絡を取り合うことができます。実際の緊急時のみに使用してください。

SOS 救助要請を送信する**△警告**

zūmo デバイスで SOS 救助要請を送信するには、あらかじめ inReach 衛星通信対応デバイスとペアリングする必要があります。(8 ページ [inReach デバイスを接続する](#))

△注意

デバイスが SOS モードのときは、inReach 衛星通信デバイスの電源をオフにしたり、オフにしようとしたりしないでください。オフにすると、この機能が正常に作動なくなり、緊急時に支援を受けるのが遅れる可能性があります。

- 1  > [inReach] の順に選択します。
- 2  を選択します。
- 3 SOS のカウントダウンが開始されます。
緊急対応サービスに SOS のデフォルトメッセージとあなたの位置情報が送信されます。
- 4 緊急対応サービスからの確認メッセージに返信します。
メッセージに返信することで、ご自身がメッセージのやりとりができる状態であることが緊急対応サービスに伝わります。
最初の 10 分間は、現在地を緊急対応サービスへ 1 分ごとに送信します。バッテリーの消費を抑えるため、それ以降は、移動した場合は 10 分ごと、静止している場合は 30 分ごとに送信されます。

SOS 救助要請を取り消す

緊急対応サービスへ SOS 救助要請を送信した後に救助の必要なくなった場合、SOS 救助要請を取り消すことができます。

[SOS 取り消し] を選択します。

取り消しリクエストが送信されます。緊急対応サービスからの確認メッセージを受信すると、デバイスは通常の状態に戻ります。

Garmin Messenger アプリ**△警告**

SOS、トラッキング、inReach 天気情報などの Garmin Messenger アプリの一部の inReach 機能を利用するには、有効な inReach サービスプランと、スマートフォンと inReach デバイスの接続が必要です。Garmin Messenger アプリを実際に屋外で使用する前に、必ず通信テストを行ってください。

△注意

Garmin Messenger アプリの非衛星通信メッセージ機能のみに依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。

注意

Garmin Messenger アプリは、インターネット(スマートフォンの無線接続またはデータ通信プランを使用)と衛星

ネットワーク (inReach デバイスを使用) の両方で動作します。スマートフォンのデータ通信を使用する場合、スマートフォンで任意のデータ通信プランのご契約が必要です。また、データ通信エリア内でのみ利用することができます。ネットワークカバレッジの範囲外で衛星ネットワークを使用するには、デバイスで inReach サービスプランが有効化されている必要があります。

Garmin デバイスを持たない相手でも、Garmin Messenger アプリでメッセージをやりとりできます。アプリをスマートフォンにインストールすることで、インターネットを介してログイン不要でコミュニケーションできます。また、アプリのユーザーは、SMS 電話番号でグループメッセージのメンバーを招待できます。グループメッセージに新しく追加されたメンバーは、Garmin Messenger アプリをダウンロードしてほかのメンバーのメッセージを確認できます。

スマートフォンの無線接続またはデータ通信プランを使用して送信されたメッセージには、inReach サービスプランのデータ料金や追加料金は発生しません。受信メッセージの配信時に衛星ネットワークとインターネットの両方を介して試行された場合、メッセージの受信に料金が発生する場合があります。ご利用のスマートフォンのデータ通信プランの通常のテキストメッセージに対する料金が適用されます。

ご利用のスマートフォンに対応するアプリストアから、Garmin Messenger アプリをダウンロードできます。
(Garmin.com/messengerapp)

Garmin Messenger アプリを使用する


△注意


Garmin Messenger アプリの非衛星通信メッセージ機能のみに依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。

注意

zūmo デバイスで Garmin Messenger アプリを使用するには、デバイス内の Garmin Messenger 機能から Bluetooth 接続を使用して対応するスマートフォンの Messenger アプリに接続されている必要があります。(9 ページ [Garmin Messenger アプリ](#))

デバイスの Garmin Messenger 機能では、スマートフォンの Garmin Messenger アプリからのメッセージを表示、作成、返信することができます。

- 1 ホーム画面で  > **[Garmin Messenger]** の順に選択します。
- 2 初めて Garmin Messenger 機能を使用する場合は、デバイスに表示された二次元コードをスマートフォンのカメラでスキャンして、画面に表示される指示に従ってペアリングとセットアッププロセスを完了します。
- 3 デバイスで次のオプションを選択します。
 - ・メッセージを新規作成するには、**[新規メッセージ]** を選択します。宛先を選択して **[次へ]** を選択したら、メッセージを入力します。
 - ・メッセージを確認するには、画面を下にスクロールして、任意のメッセージのスレッドを選択します。
 - ・メッセージに返信するには、任意のメッセージのスレッドを選択して **[返信]** を選択し、メッセージを入力します。

ヒント:  を選択すると、現在の位置情報を含んだメッセージを送信できます。



 - ・任意の地点の位置情報を共有するには、**[+]** > **[位置]** の順に選択して場所を検索します。**[選択]** を選択するとメッセージに位置情報が追加されます。
 - ・ナビゲーション実行中に目的地到着時刻を含む自動生成メッセージを送信するには、**[+]** > **[到着時刻]** の順に選択します。

Garmin Messenger アプリで投稿を作成する

△注意



Garmin Messenger アプリの非衛星通信メッセージ機能のみに依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。

投稿メッセージは、一度に複数の宛先にメッセージを送信し、それぞれの受信者は他の人の返信を見ることなく個別にメッセージを受け取ります。連絡先が 5 件以上の場合や、メールアドレスや inReach アドレス宛に送信するときは、投稿メッセージとして送信されます。

- 1 ホーム画面で  > **[Garmin Messenger]** の順に選択します。
- 2  > **[新しい投稿を作成]** の順に選択します。
- 3 宛先を選択します。(複数選択可)
- 4 **[次へ]** を選択します。
- 5 メッセージを作成します。

ヒント：📍を選択すると、現在の位置情報を含んだメッセージを送信できます。⊕を選択すると、任意の地点の位置情報を共有したり、ナビゲーション実行中は目的地到着時刻を含む自動生成メッセージを送信できます。

Garmin Messenger アプリでメッセージを削除する

- 1 ホーム画面で  > [Garmin Messenger] の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・メッセージを一件のみ削除するには、スレッドから任意のメッセージを選択し、**【削除】**を選択します。
 - ・メッセージスレッド全体を削除するには、 > **【メッセージの削除】** > 任意のメッセージスレッドを選択 > **【削除】** の順に選択します。

目的地へのナビゲーション


ルート

ルートとは、現在地から目的地までの経路のことです。1つ以上の経由地を含むこともあります。

- デバイスは、ルート探索方法や回避(16 ページ [交通遅延、有料道路、エリアを回避する](#))などで設定した条件に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- 推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始できます。また、代替ルートを選択することもできます。(12 ページ [ナビゲーションを開始する](#))
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます。
- ルートに複数の経由地を追加できます。(15 ページ [ルートに経由地を追加する](#))

ナビゲーションを開始する

目的地を検索してナビゲーションを開始することができます。


- 1 **[目的地検索]** を選択し、場所を検索します。
- 2 任意の場所を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - 現在の車両プロファイルに設定されているルート計算方法を使用してナビゲーションする場合は、**[出発]** を選択します。
 - アドベンチャールート機能(12 ページ [Garmin Adventurous Routing 機能でルートを計算する](#))を使用してナビゲーションする場合は、 を選択します。

デバイスは目的地までのルートを探し、音声案内と地図上の情報によりナビゲーションを開始します(14 ページ [地図上のルート表示の見かた](#))。ルート上の主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

目的地までのルートで、立ち寄りたい場所がある場合、ルートにその場所を追加することができます。(15 ページ [ルートに経由地を追加する](#))




Garmin Adventurous Routing 機能でルートを計算する

カーブの多い道や起伏のある道を多く含み、高速道路をできるだけ避けた「アドベンチャールート」を検索できます。この機能により、より変化に富んだルートを走行できますが、目的地までの所要時間や走行距離は長くなる場合があります。

- 1 **[目的地検索]** を選択し、場所を検索します。
- 2 任意の場所を選択します。
- 3  を選択します。
- 4 スライダーを使用して、ルートのアドベンチャーレベルを調整します。
- 5 **[出発]** を選択します。

Adventurous Routing 設定を変更する

アドベンチャールートに使用する道の種類や環境要素を変更できます。

- 1 **[目的地検索]** を選択し、場所を検索します。
- 2 任意の場所を選択します。
- 3  >  の順に選択します。
- 4 追加または除外したいルート要素を選択または解除し、 を選択します。

選択されたルート要素に従ってルートが再計算されます。

Adventurous Routing のレベルを変更する

アドベンチャーレベルのレベルを、新しいルートを開始せずに変更できます。

- 1 地図で、 > **[ルートの編集]** > **[Garmin Adventurous Routing]** の順に選択します。
- 2 スライダーを使用して、ルートのアドベンチャーレベルを増減させます。
- 3 **[出発]** を選択します。

地図上の任意の地点へのナビゲーションを開始する

地図で目的地を選択してナビゲーションを開始することができます。

- 1 **[地図]** を選択します。

- 2 地図をドラッグしたり、拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 地図上で任意の地点を選択します。
- 4 **【出発】**を選択します。


現在の車両プロファイルの設定に従ってルートが計算されます。

自宅へ戻る

初めて自宅へのナビゲーションを開始したときは、自宅の所在地の入力を求めるメッセージが表示されます。





- 1 **【目的地検索】** > **【自宅へ】**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の所在地を入力します。

自宅の所在地を編集する

- 1 **【目的地検索】** >  > **【自宅登録】**の順に選択します。
- 2 自宅の所在地を入力します。

ルートを計画する

ルートには、出発地と目的地に加え、複数の経由地とシェイピングポイントを登録できます。

- 1  > **【ルートプランナー】**の順に選択します。
- 2 出発地を設定します。任意の場所を検索するか、地図上で選択してください。
- 3 必要に応じて、ルート探索方法を選択します。
ヒント：  を選択すると、次の目的地までの坂道やカーブを多く含む「アドベンチャールート」を自動的に計算します。(12 ページ [Garmin Adventurous Routing 機能でルートを計算する](#))
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ 次のポイントに経由地を設定する場合、**【経由地を追加】**を選択します。
 - ・ 次のポイントにシェイピングポイントを設定する場合、**【シェイピングポイントを追加】**を選択します。
- 5 必要に応じて、さらに経由地やシェイピングポイントを追加します。
最後に経由地として追加した場所がルートの目的地として設定されます。
- 6 必要に応じて、 を選択してルートの経由地やシェイピングポイントを並べ替えます。
- 7 ルートが完成したら、 を選択します。

地図上のルート表示の見かた

走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルート案内します。方向転換地点や出口、その他アクションに関する指示は、地図画面の上部に表示されます。



①	次のアクションまでの距離
②	ルートでの次のアクション 次の方向転換、出口、その他のアクションや、走行すべき車線(利用可能な場合)を示します。
③	次のアクションに関連する道路や出口の名前
④	ルート 地図上に道路と異なる色で表示されます。
⑤	ルートでの次のアクション 地図上の矢印はこの先のアクション地点を示します。
⑥	地図ツール ルートとその周辺の詳細情報を確認できます。
⑦	走行中の道路の名前
⑧	車速

方向転換と進路を表示する

ルートのナビゲーション中に、この先の方向転換、レーン変更、その他の進路に関する情報を表示できます。

1 地図で次のオプションを選択します。

- ナビゲーションする際にこの先の方向転換や進路を表示するには、☰ > [方向転換] の順に選択します。
地図の横に次の複数の方向転換や進路の指示が表示されます。このリストは、ルートのナビゲーション中に自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換や進路のリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換や進路の指示を選択します。(任意)

詳細情報が表示されます。主要道路の分岐点が画像で表示されます(利用可能な場合)。


地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 [📍] を選択します。

目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスは役立つ情報を提供します。

-  は地図上の目的地の場所を示します。目的地に近づいていることを音声でアナウンスします。
- 目的地で停車した場合、デバイスはナビゲーションを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、**【停止】**を選択してナビゲーションを終了できます。

ライド概要

目的地に到着すると、デバイスにライドの統計情報の概要が表示されます。**【保存】**を選択すると、ライドを軌跡として保存できます。

注意：設定メニューでライド概要を無効にすることができます。(39 ページ [安全運転支援の設定](#))


ナビゲーション中のルートを変更する

ルートに経由地を追加する

経由地を追加するには、ルートのナビゲーションを開始する必要があります。(12 ページ [ナビゲーションを開始する](#))

ルートに経由地を追加できます。たとえば、ルートの次の経由地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の経由地や停車予定を含んだ複雑なルートを作成するには、ルートプランナーでルートを計画、スケジュールし、保存してください。(13 ページ [ルートを計画する](#))





- 1 地図で  **【目的地検索】** の順に選択します。
- 2 場所を検索します。
- 3 任意の場所を選択します。
- 4 **【出発】** を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - 選択した場所をルートの次の経由地として追加するには、**【次の経由地に追加】** を選択します。
 - 選択した場所をルートの最終目的地として追加するには、**【最終目的地に設定】** を選択します。
 - 選択した場所を新たな経由地としてルートに追加し、経由する順番を編集するには、**【実行中のルートに追加】** を選択します。

デバイスは、追加された経由地を含めてルートを再計算し、目的地まで順番にナビゲーションします。

ルートを形成する


ルートを形成するには、ルートのナビゲーションを開始する必要があります。(12 ページ [ナビゲーションを開始する](#))

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに経由地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択したり特定の地域を通過することができます。

- 1 地図で、 **【ルートの編集】** **【ルートを形成】** の順に選択します。
デバイスがルート形成モードになります。
- 2 地図上の場所を選択して、シェイピングポイントを作成します。
ヒント：  を選択して、地図上でズームインすると、より正確な場所を選択できます。
- 3 必要な場合は、次のオプションを選択します。
 - さらにシェイピングポイントを追加するには、地図上の他の場所を選択します。
 - シェイピングポイントを削除するには、該当のポイントを選択して  を選択します。
- 4  を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路を検索できます。これは、工事中的エリア、通行止めになっている道路、または走行が難しい道路状況に遭遇したときに役立ちます。

- 1 地図で、 **【ルートの編集】** の順に選択します。
- 2 **【指定距離で迂回】** を選択します。

ナビゲーションを停止する

地図で、**☰** > **[停止]** の順に選択します。

交通遅延、有料道路、エリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

注意：この機能は、2026年6月現在、日本国内では利用できません。

交通遅延を回避するには、交通情報を受信する必要があります。

初期設定では、デバイスは自動的に交通遅延を回避してルートを決めています。トラフィック設定(39 ページ [交通情報設定](#))でこのオプションを無効にしている場合は、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ルートナビゲーション実行中に、**☰** > **[トラフィック]** の順に選択します。
- 2 **[代替ルート]** を選択します(利用可能な場合)。
- 3 **[出発]** を選択します。

道路の特徴を指定して回避する

- 1 **⚙** > **[ナビゲーション]** の順に選択します。
- 2 車両プロファイルを選択します。
- 3 **[回避]** を選択します。
- 4 ルート上で回避したい道路の特徴を選択し、**[保存]** を選択します。

有料道路を回避する

有料道路、有料橋などの有料区間、または渋滞区間の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区間が含まれる場合があります。

- 1 **⚙** > **[ナビゲーション]** の順に選択します。
- 2 車両プロファイルを選択します。
- 3 **[回避]** > **[通行料金]** の順に選択します。
- 4 **[保存]** を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区間を選択して回避できます。他に妥当なルートがない場合を除き、デバイスは選択されたエリアと道路を回避して、ルートを探します。

エリアを回避する

- 1 **⚙** > **[ナビゲーション]** > **[カスタム回避]** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**[回避の追加]** を選択します。
- 3 **[回避エリアの追加]** を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、**[次へ]** を選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、**[次へ]** を選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 **[完了]** を選択します。

道路を回避する


- 1 **⚙** > **[ナビゲーション]** > **[カスタム回避]** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、**[回避の追加]** を選択します。
- 3 **[回避道路の追加]** を選択します。
- 4 回避する道路区間の始点を選択し、**[次へ]** を選択します。
- 5 道路区間の終点を選択し、**[次へ]** を選択します。
- 6 **[完了]** を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避に登録したエリアまたは道路の回避を無効にできます。

- 1 **⚙** > **[ナビゲーション]** > **[カスタム回避]** の順に選択します。

2 登録済みのカスタム回避を選択します。

3  > [無効] の順に選択します。


カスタム回避を削除する

1  > [ナビゲーション] > [カスタム回避] >  の順に選択します。

2 次のオプションを選択します。

- すべてのカスタム回避を削除するには、[すべて選択] > [削除] の順に選択します。
- 1 件のカスタム回避を削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、[削除] を選択します。

燃料計

燃料消費量を予測したり、最大走行可能距離に近づいた際に警告を通知したり、残りの走行可能距離に基づいて燃料の給油を促したりすることができます。燃料計を有効にすると、 で現在の燃料のステータスを確認できます。

白：燃料計が無効、またはデバイスがモーターサイクルマウントに接続されていません。

緑：走行可能距離が燃料残量警告の設定値を上回っています。


黄：走行可能距離が燃料残量警告の設定値を下回っています。

赤：走行可能距離が 0 です。

燃料計を有効にする

燃料計を有効にするには、デバイスをモーターサイクルマウントに取り付ける必要があります。

燃料計を有効にすると、トリップ情報ページに燃料ゲージが表示されます。(19 ページ [トリップ情報ページを確認する](#))

- 1 燃料タンクを満タンにします。
- 2  > [燃料設定] > [燃料計] の順に選択します。
- 3 [満タン時の距離] を選択します。
- 4 満タンで走行可能な距離を入力し、[完了] を選択します。

燃料残量警告を設定する

燃料タンクの残量が少なくなったときに、警告するよう設定することができます。

燃料残量警告を有効にするには、デバイスをモーターサイクルマウントに接続する必要があります。

- 1 燃料計を有効にします。(17 ページ [燃料計を有効にする](#))
- 2 [燃料残量警告] を選択します。
- 3 距離を入力し、[完了] を選択します。

燃料残量が入力した距離を走行可能な容量まで減ると、地図ページに燃料残量警告が表示されます。

燃料消費量の予測をリセットする

燃料残量を正確に計測するために、燃料を給油したら、デバイスで燃料消費量の予測をリセットしてください。

 > [燃料設定] > [燃料タンクのリセット] の順に選択します。

燃料給油案内を有効にする






燃料給油案内を有効にするには、あらかじめデバイスを自動二輪モードにして、モーターサイクルマウントに取り付け、燃料計を有効にする必要があります。

残りの走行可能距離に基づいて、燃料給油を促すように設定することができます。

 > [燃料設定] > [燃料給油案内] の順に選択します。

地図

地図を使用してルートのナビゲーションを行ったり(14 ページ [地図上のルート表示の見かた](#))、周囲の地図を表示することができます。

- 1 **[地図]** を選択します。
- 2 地図上の任意の地点を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右にスクロールします。
 - 地図レイヤーのオン/オフを変更するには、 を選択します。
 - 拡大または縮小するには、 または  を選択します。
 - ノースアップ表示、2D 表示、3D 表示を切り替えるには、 を選択します。
 - ルートを作成するには、地図をドラッグして表示された  アイコンを選択し、 を選択します。(13 ページ [ルートを計画する](#))
 - ルートナビゲーションを開始するには、地図上で目的地を選択し、**[出発]** を選択します。(12 ページ [地図上の任意の地点へのナビゲーションを開始する](#))

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながらさまざまな情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止：実行中のルートナビゲーションを停止します。

ルートの編集：迂回したり、ルートの経由地をスキップしたりできます。(15 ページ [ナビゲーション中のルートを変更する](#))

ナビをミュートにする：デバイスのオーディオをミュートします。

コースポイント：実行中のルートや走行中の道路沿いにある、この先の場所を表示します。(19 ページ [コースポイント](#))

高度：この先の高度変化を表示します。

トラフィック：ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します。この機能は、一部の地域、またはデバイスモデルでは利用できません。

注意：この機能は、2026 年 6 月現在、日本国内では利用できません。

トリップデータ：速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します。(19 ページ [地図にトリップデータを表示する](#))

トラックレコーダー：実行中の軌跡データを表示します。

方向転換：ルート上のこの先の方向転換のリストを表示します。(14 ページ [方向転換と進路を表示する](#))

電話：接続されているスマートフォンの最近の通話履歴を表示し、通話中に通話中オプションを表示します。

天気：エリアの天気状況を表示します。(37 ページ [天気情報を確認する](#))

ミュージックプレーヤー：メディアコントロールとメディア情報を表示します。

スマート通知：接続中のスマートフォンから受信した最新の通知を表示します。

グループライド：グループライドのメンバーの距離および方向を表示します。(35 ページ [グループライド](#))


Free Ride：コンパスを表示します。


Garmin Messenger：Garmin Messenger アプリのメッセージを表示します。

リーニング角：現在の車両のリーニング角を表示します。(34 ページ [リーニング角](#))

zūmo™ R1 Radar：接続中のオートバイ用レーダーからの情報を表示します。(2026 年 6 月現在、対応するレーダーは日本未発売です。)

地図ツールを表示する

- 1 地図で  を選択します。
- 2 任意のツールを選択して地図上に表示します。

ヒント：一部の地図ツールは、ツールをタッチすることで展開したり、詳細情報を表示したりできます。
- 3 地図ツールの使用を終了するときは、 を選択します。

コースポイント

コースポイントツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先の主要ポイントをカテゴリ別に表示できます。

コースポイントツールに表示するカテゴリはカスタマイズすることができます。

この先の場所を表示する

1 地図で、 > **[コースポイント]** の順に選択します。


走行中は、道路沿いまたはルート上の次の場所が地図ツールに表示されます。

2 次のオプションを選択します。

- ・ 地図ツールにカテゴリが表示されている場合は、カテゴリを選択すると、そのカテゴリに関する周辺の場所がリストで表示されます。
- ・ 地図ツールにこの先の場所が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

コースポイントツールのカテゴリをカスタマイズする

コースポイントツールで表示する場所のカテゴリを変更できます。

1 地図で、 > **[コースポイント]** の順に選択します。

2 カテゴリを選択します。

3  を選択します。

4 次のオプションを選択します。

- ・ リスト内のカテゴリを上下に移動するには、カテゴリ名の横にある矢印を選択してドラッグします。
- ・ カテゴリを変更するには、カテゴリを選択します。
- ・ 新規カテゴリを作成するには、カテゴリを選択して、**[カスタム検索]** を選択し、業種名またはカテゴリ名を入力します。


5 **[保存]** を選択します。

トリップ情報

地図にトリップデータを表示する

地図から、 > **[トリップデータ]** の順に選択します。

トリップデータの項目をカスタマイズする

1 地図から、 > **[トリップデータ]** の順に選択します。

2 トリップデータの項目を選択します。

3 オプションを選択します。

新しいトリップデータ項目が、トリップデータ地図ツールに表示されます。


トリップ情報ページを確認する

速度やトリップに関する統計情報を確認できます。

地図で、**[スピード]** を選択します。

トリップ情報をリセットする

1 地図で、**[スピード]** を選択します。

2  > **[フィールドのリセット]** の順に選択します。

3 次のオプションを選択します。

- ・ スピードメーター以外のデータ項目をすべてリセットするには、ルートのナビゲーションを実行していないときに、**[すべて選択]** を選択します。
- ・ トリップコンピュータの情報をリセットするには、**[全データのリセット]** を選択します。
- ・ 最高速度をリセットするには、**[最高速度のリセット]** を選択します。
- ・ オドメーターをリセットするには、**[トリップBのリセット]** を選択します。


交通情報を確認する

注意：この機能は、2026年6月現在、日本国内では利用できません。

最新の交通情報を確認するには、スマートフォンの Tread アプリとペアリングして接続する必要があります。
(29 ページ スマートフォンとペアリングする)



注意

Garmin は、交通情報の正確性および適時性について責任を負いません。

- 1 地図で、 > [トラフィック] の順に選択します。
- 2 トラフィックパネルを **タップ** して、地図上で交通事故情報を確認します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

- 1 地図で、 > [レイヤー] の順に選択します。
- 2 [地図タイプ] から、任意の地図タイプを選択します。
一部の地図タイプは、 > [ハイブリッド地図] の順に選択して 2 種類の地図タイプを組み合わせることができます。
[衛星イメージ] は、衛星画像をダウンロード済みのエリアに対してのみ衛星画像を表示します。(20 ページ Outdoor Maps+ のコンテンツをダウンロードする)
- 3 [地図詳細] から、地図上に表示する情報の種類を選択します。
注意：一部のレイヤーは互換性がなく、同時に有効にできない場合があります。あるレイヤーを有効にすると、互換性のない他のレイヤーは自動的に無効になります。
注意：一部の地図レイヤーを利用するには、Outdoor Maps+ サブスクリプションが必要です。

人気の自動二輪の経路を地図上に表示する

地図上に人気の自動二輪の経路を強調表示することができます。運転をより楽しめる道路を選択するのに役立ちます。

地図から、 > [人気の経路(バイク)] の順に選択します。






Outdoor Maps+ のコンテンツをダウンロードする

Outdoor Maps+ のコンテンツを利用するには、Outdoor Maps+ サブスクリプションを購入する必要があります。詳しくは、Garmin.com/outdoormaps をご参照ください。

Outdoor Maps+ のコンテンツをダウンロードする際は、デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続してください。
(45 ページ Wi-Fi ネットワークに接続する)

Outdoor Maps+ のコンテンツを地図上に表示するには、該当の地域のコンテンツをダウンロードする必要があります。

注意：Outdoor Maps+ の一部のレイヤーは、特定の地域でのみ利用できます。


- 1  > [地図] > [地図管理] > [Outdoor Maps+] > [地図をダウンロード] の順に選択します。
- 2  を選択します。
- 3 ダウンロードしたい地図レイヤーを選択します。
ヒント： を **タップ** すると、そのレイヤーの情報を確認できます。
選択した地図レイヤーにチェックマークが表示されます。
- 4  を選択します。
- 5 地図をドラッグし、ピンチ操作で拡大・縮小して、ダウンロードしたい範囲がハイライトされた四角形に収まるように調整します。
ヒント：範囲を変更すると、画面上部に総ダウンロードサイズと現在のストレージ使用量が表示されます。
- 6  を選択してダウンロードを開始します。
Outdoor Maps+ のコンテンツをダウンロード中でも、デバイスを引き続き使用できます。

コレクションを地図に表示する

コレクションの地図レイヤーを表示するには、デバイスを Tread アプリとペアリングし、Garmin アカウントと同期しておく必要があります。

Garmin アカウントに保存されているアイテムを地図上に直接表示できます。

注意：Garmin アカウント内でどのコレクションにも分類されていないアイテムは、zūmo デバイス上では【未整理】コレクションに表示されます。





- 1 地図で、 > 【コレクション】の順に選択します。
- 2 一覧からコレクションカテゴリを選択します。(複数選択可)
選択したコレクションの軌跡やポイントが、地図上にアイコンで表示されます。

地図データ項目を変更する


- 1 地図から、データ項目を選択します。
注意：【スピード】はカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図のショートカットメニューを変更する

地図の隅に表示されるショートカットボタンを変更できます。


- 1 地図で、 >  の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
ショートカットボタンを削除するには、 を選択します。
ショートカットボタンを変更するには、 を選択し、新しく配置したいショートカットを選択します。
- 3 【保存】を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1  > 【地図】 > 【運転地図表示】の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・【トラックアップ】 地図(2D)が表示され、進行方向が常に地図画面上方になるよう表示されます。
 - ・【ノースアップ】 地図(2D)が表示され、北が常に地図画面上方になるよう表示されます。
 - ・【3D】 立体地図が表示されます。
 - ・【グループに自動ズーム】 グループのすべてのライダーが画面に表示されるよう、地図の縮尺が自動で調整されます。
- 3 【保存】を選択します。

地図リージョンを変更する

デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されている場合、新しい地図リージョンをデバイスに直接ダウンロードできます。

- 1  > 【地図管理】 > 【デバイスの地図の管理】の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・地図リージョンを削除するには、地図リージョンを選択し、【削除】を選択します。
 - ・新しい地図リージョンをデバイスの内蔵メモリにインストールするには、地図リージョンを選択し、【デバイスに保存】を選択します。
 - ・新しい地図リージョンをメモリーカードにインストールするには、地図リージョンを選択し、【メモリーカードに保存】を選択します。(42 ページ [メモリーカードを挿入する](#))リージョンを追加または削除すると、ページ上部のバーにデバイスの利用可能なストレージ容量が表示されます。
- 3 地図リージョンの追加または削除が完了したら、【適用】を選択します。

目的地検索

地図には、レストランやホテル、ガソリンスタンドなどのポイントや詳細な道路情報が含まれています。目的地検索メニューには情報を参照、検索、保存するためのさまざまな方法があり、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで、**[目的地検索]**を選択します。

- **[Q 検索]** デバイスに保存されているすべてのデータから、目的地をすばやく検索します。(22 ページ [検索バーで場所を検索する](#))
- **[住所]** 住所を入力して目的地を検索します。(24 ページ [住所を検索する](#))
- **[カテゴリー]** プリインストールのカテゴリー別ポイント一覧(POI)を参照または検索します。(22 ページ [カテゴリーを選択して場所を検索する](#))
- 検索エリア表示部分を**タップ**すると、検索エリアを変更できます。(23 ページ [検索エリアを変更する](#))
- **[ポイント]** 保存されているポイント情報を確認・編集できます。(25 ページ [場所を保存する](#))
- **[最近表示した項目]** 最近検索した場所を確認できます。(24 ページ [最近検索した場所を表示する](#))
- **[Outdoor Maps+]** Outdoor Maps+ サブスクリプションの地図で目的地を検索します。
- **[座標]** 地理座標を入力して目的地を検索します。(24 ページ [座標を使用して場所を検索する](#))

主要ポイント一覧

注意

ユーザーには、主要ポイントに関連する適用される規則、法律、規制を理解し遵守する責任があります。

主要ポイントとは、便利または興味があると思われる場所です。カテゴリー別に分類され、ガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などの人気の場所が含まれています。

検索バーで場所を検索する

検索バーに、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して場所を検索します。

- 1 **[目的地検索]**を選択します。
- 2 検索バーで**[検索]**を選択します。
- 3 検索ワードの全体または一部を入力します。
検索ワード候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次のオプションを選択します。
 - 店名を検索するには、名前の全体または一部を入力します。
 - 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - 検索ワードの候補を選択して検索します。
 - 入力したテキストを使用して検索するには、**Q**を選択します。
- 6 必要に応じて、場所を選択します。

カテゴリーを選択して場所を検索する

- 1 **[目的地検索]**を選択します。
- 2 任意のカテゴリーまたは**[カテゴリー]**を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 任意の場所を選択します。

目的地検索の結果

検索結果は、現在地から最も近い場所から順に一覧で表示されます。また、地図上の対応する地点に番号が表示されます。さらに検索結果を表示するには、一覧を下にスクロールしてください。

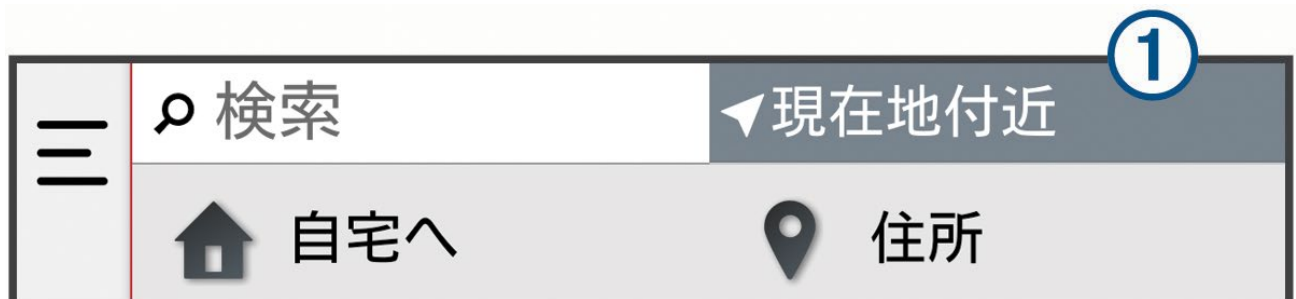


①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② ⓘ	選択した場所に関する詳細情報を表示します。
③ ⚓	アドベンチャールートでのナビゲーションを開始します。(12 ページ <i>Garmin Adventurous Routing</i> 機能でルート进行計算する)
④ [出発]	現在の車両プロファイルのデフォルトのルート計算方法で作成したルートのナビゲーションを開始します。
⑤ ≡	全画面表示の地図上に検索結果を表示します。

検索エリアを変更する

初期設定では、現在地周辺を検索します。目的地周辺、他の都市の周辺、実行中のルート周辺など別のエリアも検索できます。

- 1 **[目的地検索]** を選択します。
- 2 現在の検索エリア①を選択します。



- 3 検索エリアを選択します。
- 4 必要に応じて、画面に表示される指示に従って操作し、特定の場所を選択します。

画面上部に、選択した検索エリアが表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

駐車場

現在地周辺の駐車場を検索する

- 1 **[目的地検索]** > **[カテゴリー]** > **[駐車場]** の順に選択します。

- 2 駐車場を選択します。
- 3 **[出発]**を選択します。

指定した場所の周辺の駐車場を検索する

- 1 **[目的地検索]**を選択します。
- 2 場所を検索します。
- 3 検索結果から任意の場所を選択します。
- 4 **i** > **[駐車場]**の順に選択します。
選択した場所の近くにある駐車場がリストで表示されます。
- 5 駐車場を選択します。
- 6 **[出発]**を選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の場所を検索できます。

住所を検索する

注意：地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 **[目的地検索]**を選択します。
- 2 必要に応じて、検索エリアを別の都市や地域の周辺に変更します。
- 3 **[住所]**を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。


交差点を検索する

注意：この機能は、2026年6月現在、日本国内では利用できません。
市街地や有料道路などにある交差点または分岐を検索できます。

- 1 **[目的地検索]** > **[交差点]**の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、道路情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して場所を検索する

緯度と経度を指定して、場所を検索できます。

- 1 **[目的地検索]** > **[座標]**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、を選択し、位置フォーマットや測地系を変更します。
- 3 **[座標]**を選択します。
- 4 緯度と経度を入力し、**[完了]**を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ 座標で指定した地点をポイントとして保存するには、**[保存]**を選択します。
 - ・ 座標で指定した地点へのナビゲーションを開始するには、**[出発]**を選択します。

最近検索した場所を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の最新 50 件の履歴が保存されています。

[目的地検索] > **[最近表示した項目]**の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

[目的地検索] > **[最近表示した項目]** >  > **[消去]** > **[はい]**の順に選択します。

現在地情報を表示する

現在地確認ページには、現在地に関する情報が表示されます。緊急時に 110 番や 119 番通報で自分のいる場所を知らせる場合に便利な機能です。

地図で、車両アイコンを選択します。

緊急サービスとガソリンスタンドを検索する

現在地確認ページで、最寄りの病院、警察署、ガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 **[病院]**、**[警察署]**、または**[ガソリンスタンド]**を選択します。
注意：地域によっては、これらのサービスが利用できない場合があります。
選択したサービスの検索結果がリストで表示されます。現在地から近い順に上から表示されます。
- 3 任意の場所を選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ 選択した場所までのナビゲーションを開始するには、**[出発]**を選択します。
 - ・ 電話番号など詳細情報を表示するには、**i** を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる場所への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 **≡** > **[現在地へのルート]** の順に選択します。
- 3 スタート地点を選択します。
- 4 **[選択]** を選択します。

ショートカットを追加する

目的地検索メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、場所、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

目的地検索メニューには最大 36 個のショートカットアイコンを追加できます。

- 1 **[目的地検索]** > **[ショートカットの追加]** の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 **[目的地検索]** > **≡** > **[ショートカットの削除]** の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 **[完了]** を選択します。

場所を保存する

検索した場所を保存する

- 1 任意の場所を検索します。(22 ページ [目的地検索](#))
- 2 検索結果から任意の場所を選択します。
- 3 **i** > **[保存]** の順に選択します。
- 4 必要に応じて、**[名前]** を選択して場所の名前を編集します。
- 5 **[保存]** を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 **[保存]** を選択します。
- 3 必要に応じて、**[名前]** を選択して場所の名前を編集します。
- 4 **[保存]** を選択します。


保存した場所を編集する

- 1 **[目的地検索]** > **[ポイント]** の順に選択します。
- 2 必要な場合は、カテゴリーを選択します。
- 3 任意の場所を選択します。
- 4 **[編集]** を選択します。

- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ **[名前]** を選択します。
 - ・ 地図上に表示するシンボルを変更するには、**[地図記号]** を選択します。
 - ・ 保存済みのコレクションカテゴリーにポイントを追加または削除するには、**[コレクション]** を選択します。
 - ・ ポイントの座標を編集するには、**[座標]** を選択します。
- 6 情報を編集します。
- 7 **[完了]** を選択します。

保存済みのアイテムを確認する


デバイスに保存されたポイントやルート、軌跡などのアイテムを **[保存済み]** アプリから確認できます。Tread アプリとペアリングしている場合、保存済みアイテムは Garmin アカウントに定期的に同期されます。

- 1  > **[保存済み]** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーフィルタ①を選択して参照するデータの種類を変更します。





保存済みのアイテムを共有する

保存済みのアイテムをペアリング済みの Tread アプリを介して共有したり、メモリーカードに保存できます。

- 1 **[保存済み]** アプリで、共有したいアイテムを選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ ルートまたは軌跡を共有するには、 > **[共有]** の順に選択します。
 - ・ ポイントを共有するには、**[共有]** を選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - ・ スマートフォンの Tread アプリに送信するには、**[Garmin Tread]** を選択します。
 - ・ microSD カードに保存するには、**[メモリーカード]** を選択します。
- 4 必要に応じて、GPX ファイル名を編集します。

複数の保存済みのアイテムをまとめて共有する


複数のアイテムを一つの GPX ファイルにまとめて共有できます。


- 1 **[保存済み]** アプリで、共有したいアイテムをすべて含むカテゴリまたはコレクションフィルタを選択します。
- 2  > **[共有]** の順に選択します。
- 3 共有するアイテムを選択します。(複数選択可)
- 4  を選択します。
- 5 次のオプションを選択します。
 - ・ スマートフォンの Tread アプリに送信するには、**[Garmin Tread]** を選択します。
 - ・ microSD カードに保存するには、**[メモリーカード]** を選択します。
- 6 必要に応じて、GPX ファイル名を編集します。

Garmin アカウントデータを同期する

アカウントデータを同期するには、デバイスを Tread アプリとペアリングする必要があります。(29 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

軌跡などのデータを Garmin アカウントに同期することができます。デバイスは、定期的にデータをアカウントと自動で同期します。また、いつでも手動でデータを同期することができます。

1  > [保存済み] の順に選択します。

2  を選択します。

車両プロフィール

⚠警告



車両プロフィールの特性を入力しても、すべてのルート案内でその特性が反映されることや、すべての状況で警告が表示されることを保証するものではありません。地図データの制限により、デバイスがすべての制限事項や道路状況を反映できない場合があります。運転時は、必ず掲示されている道路標識および実際の道路状況を優先して判断してください。

車両プロフィールごとに異なるデバイス設定を保存できます。車両プロフィールを切り替えると、有効にする地図レイヤーやデフォルトのルート計算方法など、複数の設定をまとめて変更できます。

ルート計算やナビゲーションは、選択した車両プロフィールの設定に基づいて実行されます。入力した車両の寸法、重量、その他の特性に応じて、通行制限や通行不能なエリアはルートから自動的に除外されます。

ステータスバーのアイコンで、現在の車両プロフィールを確認できます。ナビゲーション設定および地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

車両プロフィールを切り替える

- 1 ステータスバーに表示されている、 や  などの車両プロフィールアイコンを選択します。
- 2 車両プロフィールを選択します。
寸法や重量など、車両プロフィールの登録情報が表示されます。
- 3 **[選択]** を選択します。







車両プロフィールを追加する

デバイスで使用する車両ごとに、個別の車両プロフィールを作成できます。

- 1 ステータスバーに表示されている、現在の車両プロフィールアイコンをタップします。
- 2 **+** を選択します。
- 3 現在の車両タイプを選択します。
- 4 車両のサイズや駆動方式などの特性を入力します。
- 5 デフォルトのルート探索方法を選択します。

車両プロフィールを編集する

車両プロフィールの基本情報を編集したり、最高速度などの詳細情報を追加したりできます。

- 1  > **[車両プロフィール]** の順に選択します。
- 2 編集する車両プロフィールを選択します。
- 3 次のオプションを選択します。
 - 車両プロフィールの登録情報を変更するには、 を選択し、編集したい項目を選択します。
 - 車両プロフィールの名称を変更するには、 >  > **[プロフィール名の変更]** の順に選択します。
 - 車両プロフィールを削除するには、 >  > **[削除]** の順に選択します。

ライブサービス、交通情報、およびスマートフォン連携機能

⚠警告

運転中は、デバイスを操作したり、画面を注視したりしないでください。注意力が散漫になり、重大な人身事故や死亡事故につながるおそれがあります。

注意

Garmin は、交通情報の正確性および適時性について責任を負いません。

Tread アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報(天気情報など)を受信できます。

ライブトラフィックデータ：交通事故や遅延、工事ゾーン、通行止めなどのライブトラフィックデータをデバイスに送信します。

注意：この機能は、2026年6月現在、日本国内では利用できません。

天気情報：リアルタイムの気象情報をデバイスに送信します。(37 ページ [天気情報を確認する](#))


スマート通知：スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。一部の言語ではこの機能を利用できません。

ハンズフリー通話：Bluetooth ヘッドセットを接続して、デバイスから電話をかけたり受けたりすることができます。

位置情報をデバイスに送信：スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする


zūmo デバイスをスマートフォンおよび Tread アプリとペアリングすると、スマートフォン連携機能を使用したり、ライブ情報にアクセスできるようになります。(29 ページ [ライブサービス、交通情報、およびスマートフォン連携機能](#))

- 1 zūmo デバイスの電源をオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 2 zūmo デバイスで、 > **[スマートフォン]** > **[スマートフォンを追加]** の順に選択します。
- 3 画面に表示される二次元コードをスマートフォンでスキャンして、Tread アプリをダウンロードしてインストールします。
ヒント：主要なスマートフォンでは、カメラアプリで二次元コードを読み取ることができます。
- 4 画面に表示される指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングとセットアップを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。ペアリング完了後は、デバイスでスマートフォン連携機能を有効または無効にできます(38 ページ [スマートフォン設定](#))。デバイスとスマートフォンの電源がオンで Bluetooth 接続範囲内にあるときは、自動的に接続します。

ワイヤレスヘッドセットをペアリングする

注意：zūmo デバイスをスマートフォンの Tread アプリとペアリングしている場合、ヘッドセットは zūmo デバイスではなくスマートフォンと直接 Bluetooth 接続でペアリングできます。ナビゲーション音声やスマートフォンの通話音声は、複数のヘッドセットで同時に聞くことはできません。マルチメディアオーディオのみ、2 台のヘッドセットで同時に再生できます。

- 1 ヘッドセットとナビゲーションデバイスの距離が 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 2 ナビゲーションデバイスで、 > **[ヘッドセット]** > **[ヘッドセットの追加]** の順に選択します。
- 3 ヘッドセット側で Bluetooth 通信を有効にして、他の Bluetooth デバイスから認識できるようにします。
- 4 ナビゲーションデバイスの画面に表示される指示に従って、ペアリングを完了します。

ペアリング完了後は、ワイヤレスヘッドセット接続機能を有効または無効にできます。(38 ページ [ヘッドセット設定](#))

スマート通知

デバイスが Tread アプリに接続されているときは、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定など、スマートフォンからの通知を zūmo デバイスで確認できます。

通知を受信する

⚠警告

運転中は、デバイスを操作したり、画面を注視したりしないでください。注意力が散漫になり、重大な人身事故や

死亡事故につながるおそれがあります。

この機能を使用するには、対応のスマートフォンで Tread アプリを起動し、デバイスと接続する必要があります。
(29 ページ スマートフォンとペアリングする)

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページで通知のポップアップが表示されます。移動中に通知を表示するには、運転者ではなく同乗者であることを確認する必要があります。

注意：地図を表示している場合は、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、**[OK]** を選択します。
ポップアップは閉じますが、スマートフォン側の通知はアクティブのままです。
- 通知を表示するには、**[表示]** を選択します。
- 通知を再生するには、**[表示] > ▶** の順に選択します。
デバイスは TTS(Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。一部の言語ではこの機能を利用できません。
- 通知を消去するなど、追加アクションを実行するには、**[表示]** を選択してオプションを選択します。
注意：この機能は、一部の通知タイプでのみ利用可能です。また、通知元のアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

⚠ 警告

運転中は、デバイスを操作したり、画面を注視したりしないでください。注意力が散漫になり、重大な人身事故や死亡事故につながるおそれがあります。

この機能を使用するには、対応のスマートフォンで Tread アプリを起動し、デバイスと接続する必要があります。
(29 ページ スマートフォンとペアリングする)

地図を表示している場合、新着通知は画面の端にある地図ツールに表示されます。移動中に通知を表示するには、運転者ではなく同乗者であることを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、**✕** を選択するか、ポップアップが消えるまで待ちます。
ポップアップは閉じますが、スマートフォン側の通知はアクティブのままです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**[メッセージを再生]** を選択します。
デバイスは TTS(Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。一部の言語ではこの機能を利用できません。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知をリストで表示できます。

- 1 **■ ■** > **[スマート通知]** の順に選択します。
通知のリストが表示されます。未読の通知は黒、既読の通知はグレーで表示されます。
- 2 次のオプションを選択します。
 - 通知を表示するには、通知の内容を選択します。
 - 通知を聞くには、**▶** を選択します。
デバイスは TTS(Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。一部の言語ではこの機能を利用できません。

ハンズフリー通話

注意：多くのスマートフォンとヘッドセットに対応していますが、一部の機種は非対応です。ご使用のスマートフォンでは、一部の機能が利用できない場合があります。

デバイスを対応のスマートフォンとワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに Bluetooth 接続して、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。互換性を確認するには、[Garmin.com/bluetooth](https://www.garmin.com/bluetooth) を参照してください。

電話をかける

- 1 **■ ■** > **[電話]** の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - 電話をかけるには、**[ダイヤル]** を選択して電話番号を入力し、**[ダイヤル]** を選択します。
 - 最近の通話履歴、不在着信、発信履歴、着信履歴から電話をかけるには、**[通話履歴]** を選択して、ログから電話番号を

選択し、**【通話】**を選択して発信します。

- ・電話帳に登録されている連絡先に電話をかけるには、**【連絡先】**を選択して、連絡先を選択し、**【通話】**を選択します。
- ・レストランや一般施設などの主要ポイントとして登録されている場所に電話をかけるには、**【カテゴリーを参照】**を選択して、カテゴリーから場所を選択し、**【通話】**を選択します。

自宅に電話をかける


 > **【電話】** > **【自宅へ電話】**の順に選択します。

この機能を初めて使用するときは、自宅の電話番号を入力する必要があります。

ヒント：自宅の電話番号は、登録した後も  > **【自宅電話番号の設定】** から変更できます。

通話中オプションを使用する

通話中に使用可能な複数のオプションがあります。一部のオプションは、ご使用のスマートフォンに対応していない場合があります。

ヒント：通話中オプションのページを閉じた場合でも、どの画面からでも  を選択して通話中オプションのページを開くことができます。地図表示中は発信者名を選択することもできます。

- ・グループ通話を開始するには、**【通話追加】**を選択します。
- ・音声の出力先をスマートフォンに切り替えるには、**【ナビゲーターで通話中】**を選択します。

ヒント：この機能は、通話を継続したまま Bluetooth 接続を解除したい場合や、スピーカーでなくスマートフォンで話したい場合に使用します。

- ・ダイヤルパッドを使用するには、**【キーパッド】**を選択します。



ヒント：この機能は、自動電話システムなどで番号入力する必要がある場合に使用します。

- ・マイクをミュートにするには、**【ミュート】**を選択します。
- ・電話を切るには、**【通話終了】**を選択します。

Bluetooth デバイスの接続をオフにする

ペアリングされているデバイスのリストから削除することなく、Bluetooth 接続を一時的に切断することができます。切断した後も、Bluetooth デバイスは zūmo デバイスに自動的に接続できます。

1 次のオプションを選択します。

- ・スマートフォンとの接続をオフにするには、 > **【電話】**の順に選択します。
- ・ヘッドセットとの接続をオフにするには、 > **【ヘッドセット】**の順に選択します。

2 接続を切断するデバイスを選択します。

3 **【切断】**を選択します。

スマートフォンとのペアリングを解除する

スマートフォンとのペアリングを解除します。解除後は、デバイスに自動的に接続されなくなります。

1  > **【電話】**の順に選択します。

2 スマートフォンを選択して、**【デバイスを解除】**を選択します。

アプリケーション

Garmin Performance

警告

このデバイスをサーキット走行、ドラッグレース、その他のレース走行で使用する場合は、レース専用施設内でのレクリエーション目的でのみ使用してください。公道では絶対に使用しないでください。この警告に従わなかった場合、デバイスや車両の物的損害、重大な人身事故、または死亡につながるおそれがあります。このデバイスは、使用者の責任において安全かつ適切に使用してください。

運転中にサーキット走行セッションやドラッグレースセッションを確認しないでください。周囲への注意を怠ると、重大なけがや死亡事故につながるおそれがあります。

注意：デバイスの Garmin Performance 機能を使用するには、Garmin Performance Package サブスクリプションが必要です。(32 ページ [Garmin Performance Package サブスクリプションを購入する](#))

Garmin Performance 機能を使用すると、デバイスからサーキット走行セッションやドラッグレースセッションを開始し、ラップタイムやレースサマリーなど各セッションのパフォーマンスデータを確認できます。また、レース前に現在の天気や、過去のセッション時の天気情報も確認できます。



①	レースプロフィールを表示します。
② ライド	サーキット走行セッションまたはドラッグレースセッションを開始します。
③ ラップタイム	以前のサーキット走行セッションの概要を表示します。
④ 加速タイム	以前のドラッグレースセッションの概要を表示します。
⑤ 同期	セッションを同期します。
⑥	環境条件が表示されます。
⑦ トラック	サーキットのデータベースを表示します。

Garmin Performance Package サブスクリプションを購入する

Garmin Performance Package サブスクリプションを購入すると、zūmo デバイスのレース向け機能を利用できます。


- 1 ホーム画面で > [Garmin Performance] の順に選択します。
- 2 二次元コードをスマートフォンでスキャンして、画面に表示される指示に従って購入を完了します。








Garmin Catalyst アプリ

Garmin Catalyst アプリでは、zūmo デバイスで記録したデータから、ラップタイム、加速タイム、セッションの概要などのレースのパフォーマンスデータを確認できます。また、各セッションにおける天気情報を確認できます。アプリにはライダーや車両のプロフィールに使用できるカスタマイズ可能なアイコンが用意されています。お使いのスマートフォンに対応するアプリストアから、Garmin Catalyst アプリをダウンロードしてください。

注意：Garmin Catalyst アプリでライダープロフィールのアイコンを変更しても、zūmo デバイスには反映されません。

サーキット走行セッションを開始する

サーキット走行セッションを開始する前に、デバイスで衛星信号を受信してください。信号の受信状況は、ステータスバーの  アイコンから確認できます。

- 1 Garmin Performance 機能で、**[ライド]** > **[サーキット]** の順に選択します。
- 2 サーキットを選択します。
- 3 必要な場合は、路面のコンディションを選択します。
- 4 次のオプションを選択します。
 - ・ライダープロフィールを変更するには、 > 任意のプロフィールの順に選択します。
 - ・車両プロファイルを変更するには、 > 任意のプロファイルの順に選択します。
 - ・ラップタイムの設定を確認・変更するには、 > **[デルタタイマー]** または **[ラップタイマー表示]** の順に選択します。
 - ・路面コンディションを変更するには、 /  /  のいずれかを選択します。
 - ・リーニング角を校正するには、 を選択し、画面に表示される指示に従って操作します。
- 5 **[開始]** を選択します。
- 6 走行を開始します。
スタートラインを通過すると自動でタイマーが開始します。

サーキットタイマー

走行中、デバイスは進行状況を記録します。セッションタイマー画面には、ラップ数や最速ラップタイムが表示されます。



① 前回ラップ	現在のセッションの前回ラップタイムが表示されます。
② 最速ラップ	現在のセッションの最速ラップタイムが表示されます。このタイマーは、ライド開始時にカスタマイズできます。(33 ページ サーキット走行セッションを開始する)
③ デルタ	現在のセッションの最速ラップタイムと現在のラップタイムの差が表示されます。
④ 終了	タイマーを一時停止するか、現在のセッションを終了します。
⑤ ラップ	現在のラップ数が表示されます。
⑥ 合計タイム	現在のセッションの合計ラップタイムが表示されます。

サーキットを Garmin Performance に追加する


デバイスにロードされていないサーキットを追加できます。デバイスは GPS 位置情報と車両の動きをもとにサーキットのマップを作成します。






- 1 Garmin Performance 機能で、**[ライド]** > **[サーキット]** > **[サーキットを追加]** の順に選択します。
- 2 サーキット名を入力します。
- 3 必要な場合は、ライダープロフィールとセッション設定を変更します。(33 ページ [サーキット走行セッションを開始する](#))
- 4 **[開始]** を選択します。
- 5 運転を開始します。

ピットエリアを出てサーキットのトラックに入ったら、直線を 90km/h(55mph)以上で最低 0.5 秒間走行し、フルラップを完走してください。

- 6 ドライブセッション完了後、**[終了]**を選択します。
- 7 **▶▶**または**◀◀**を選択してマップ上のスタートラインの位置を移動します。
- 8 **[保存]**を選択します。

ドラッグレースセッションを開始する

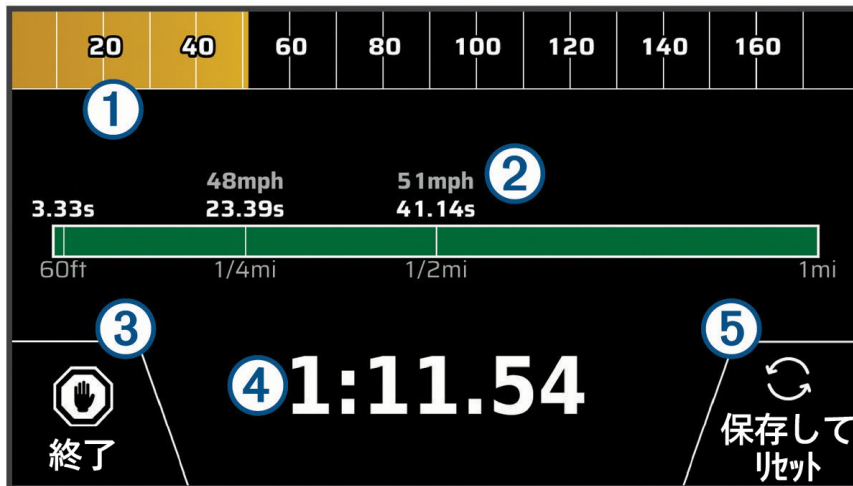
ドラッグレースセッションを開始する前に、デバイスで衛星信号を受信してください。信号の受信状況は、ステータスバーの  アイコンから確認できます。

- 1 Garmin Performance 機能で、**[ライド]** > **[ドラッグレース]**の順に選択します。
- 2 次のオプションを選択します。
 - ・ドラッグレースセッションの距離や速度を変更するには、 を選択します。
 - ・車両プロファイルを変更するには、 > 任意のプロファイルの順に選択します。
 - ・路面コンディションを変更するには、 を選択します。
 - ・タイヤ空気圧の値を追加するには、 を選択します。
 - ・ローンチコントロールの設定回転数を追加するには、 を選択します。

- 3 **[開始]**を選択します。
- 4 レースを開始します。
タイマーが自動で開始します。

ドラッグレースセッションタイマー

ドラッグレースセッション中、デバイスは速度と進行状況を記録します。セッションタイマー画面には、合計タイムやスプリットタイムが表示されます。




①	セッション中の走行速度が表示されます。停車中は、セッション中の最高速度が表示されます。
②	現在のセッションのスプリットタイムが表示されます。
③ 終了	現在のセッションを終了します。
④	現在のセッションの合計タイムが表示されます。
⑤ 保存してリセット	現在のセッションを保存し、セッションタイマーをリセットします。

リーニング角

⚠警告

リーニング角アプリケーションは、校正された測定値に基づいて車両のリーニング角(傾き角度)を表示するための機能です。デバイスの校正は使用者の責任において行ってください。校正後にデバイスの取り付け位置が変わると、測定精度に影響するおそれがあります。表示される測定値は、あくまで使用者が入力した情報に基づく参考値です。環境条件が大きく変化した場合は、繰り返し慎重に測定し、測定値を安定させてください。変化する状況や読み取り誤差を考慮し、常に安全マージンを確保してください。車両や周囲の状況を適切に考慮しないと、死亡または重

大な傷害につながる事故を引き起こすおそれがあります。

デバイスには車両の現在のリーニング角が表示されます。取り付け位置を変更した場合は、を選択し、画面に表示される指示に従って必ずデバイスを校正してください。

グループライド

グループライド機能では、プリセットメッセージ、現在地をリアルタイムで表示するライブ地図が利用できます。近くにいるほかのライダーとライドを連係したり、通信したりできます。zūmo デバイスをスマートフォンの Tread アプリとペアリングして、グループライドのトラッキング機能を有効にできます。

モバイルグループライドを開始する

モバイルグループライドを開始または参加するには、zūmo デバイスをスマートフォンの Tread アプリとペアリングし、スマートフォンのインターネット接続を有効にしておく必要があります。

- 1 メインメニューで、**[グループライド]**を選択します。
- 2 必要に応じて、名前を入力してから、**[完了]**を選択します。
- 3 **[グループライドを開始]** > **[モバイルグループライドを作成する]**の順に選択します。
ライド ID と二次元コードが表示されます。
- 4 他のライダーにライド ID を共有します。
ヒント：他のライダーは、Tread アプリで二次元コードをスキャンしてグループライドに参加することができます。
- 5 **[開始]**を選択します。

グループライドに参加する

ほかの運転者が作成した近くのグループライドに参加できます。


- 1 メインメニューから、**[グループライド]** > **[グループライドに参加する]**の順に選択します。
- 2 ライド ID を入力し、**[完了]**を選択します。

最近のグループライドに再参加する

最近参加した 10 件のグループライドに再参加できます。

- 1 メインメニューから、**[グループライド]** > **[最近のグループライド]**の順に選択します。
- 2 最近のグループライドを選択し、**[参加]**を選択します。

グループライドを終了する

- 1 メインメニューで、**[グループライド]**を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択します。
- 3 **[終了]** > **[はい]**の順に選択します。

グループライド設定

メインメニューで、**[グループライド]** > の順に選択します。

運転者名を編集：グループライド中に表示される名前を設定できます。この設定は、グループライド実行中は使用できません。

運転者地図ラベル：アクティブな各運転者の地図上の表示ラベルを設定します。

軌跡を地図に表示：グループライドの参加者の軌跡を地図上に示します。

設定リセット：すべてのグループライド設定を初期値にリセットできます。この設定は、グループライド実行中は使用できません。


ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーでは、以下のソースの音楽またはオーディオを再生できます。

- zūmo デバイ스에保存されている音楽ファイル
- ペアリング済みスマートフォンの Bluetooth オーディオ

地図にミュージックプレーヤーツールを追加する

地図ツールのミュージックプレーヤーを使用すると、地図上でミュージックプレーヤーを操作できます。

- 1 地図を開きます。
- 2  > [ミュージックプレーヤー] の順に選択します。
地図にミュージックプレーヤーのコントロールが表示されます。

メディアソースを変更する

デバイスでメディアソースを変更できます。

- 1 [音楽] を選択します。
- 2 現在のメディアソース①を選択します。




- 3 メディアソースをリストから選択します。

軌跡

軌跡とは、移動経路の記録です。軌跡ログには、時刻、場所、高度情報などの記録された経路に関する情報が含まれています。

軌跡を記録する

移動経路を軌跡として記録します。記録を開始すると、デバイスは現在地を記録し、軌跡を更新します。


- 1  > [トラックレコーダー] の順に選択します。
- 2 [開始] を選択します。

デバイスと Tread アプリをペアリングしている場合、記録された軌跡は Garmin アカウントに定期的に同期されます。記録された軌跡をたどって、新しいルートとしてナビゲーションできます。

TracBack



出発地点へ戻る(トラックバック)

TracBack 機能は、最新の軌跡を記録します。これをたどって出発地点へ戻るナビゲーションを開始できます。

- 1  > [TracBack] の順に選択します。
地図上に最新の軌跡が表示されます。
- 2 [出発] を選択します。

最新の軌跡をルートとして保存する



最新の軌跡をルートとして保存できます。あとでルートプランナーからナビゲーションを開始できます。

- 1  > [TracBack] の順に選択します。
地図上に最新の軌跡が表示されます。
- 2  > [ルートとして保存] の順に選択します。
- 3 ルートの名前を入力し、[完了] を選択します。

地図上に交通情報を表示する



注意：この機能は、2026年6月現在、日本国内では利用できません。

交通渋滞マップには、周辺の道路の交通状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > **[トラフィック]** の順に選択します。
- 2 必要に応じて、 > **[凡例]** の順に選択し、交通渋滞マップの凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

注意：この機能は、2026年6月現在、日本国内では利用できません。

- 1 メインメニューで、 > **[トラフィック]** の順に選択します。
- 2  > **[事故]** の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数発生しているときは、矢印で事故情報をスクロールします。


天気情報を確認する

注意

Garmin は、天気予報データの正確性および適時性について責任を負いません。

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Tread アプリに接続して、天気データを受信できます。(29 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))

注意：一部の地域では、天気予報を利用できません。

- 1  > **[天気]** の順に選択します。
現在の天気と今後数日間の予報がデバイスに表示されます。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

ルートと目的地の履歴を表示する

この機能を使用するには、走行履歴機能を有効にする必要があります。(40 ページ [デバイスおよびプライバシー設定](#))

以前実行したルートや立ち寄った場所を地図上に表示します。

-  > **[目的地の履歴]** の順に選択します。

設定

スマートフォン&ヘッドセット設定

スマートフォン設定

⚙️ > [スマートフォン] の順に選択し、スマートフォンを選択します。

切断：ペアリング済みのスマートフォンとの Bluetooth 接続を切断します。

スマートフォン名：ペアリング済みのスマートフォンの名前が表示されます。名前を選択すると、ナビゲーションデバイスでの表示方法を変更できます。

通話コントロール：着信時の通話操作を有効にします。

Media オーディオ：ペアリング済みのスマートフォンのメディアオーディオを、ナビゲーションデバイスで再生できるようにします。

Garmin Tread：スマートフォンの Tread アプリとの接続ステータスを表示します。

デバイスを解除：ペアリング済みデバイスのリストから、接続されているデバイスを削除します。このオプションは、1台以上のデバイスがペアリングされている場合のみ使用できます。

ヘッドセット設定

⚙️ > [ヘッドセット] の順に選択し、ヘッドセットを選択します。

切断：ペアリング済みのヘッドセットの Bluetooth 接続を切断します。

ヘッドセット名：ペアリング済みのヘッドセットの名前が表示されます。名前を選択すると、ナビゲーションデバイスでの表示方法を変更できます。

ナビゲーションの音質：音声案内の音質を設定します。

ヘッドセット：ヘッドセット機能を有効または無効にします。

Media オーディオ：メディアオーディオのヘッドセットでの再生を有効または無効にします。

デバイスを解除：ペアリング済みデバイスのリストから、ヘッドセットを削除します。

Wi-Fi 設定

デバイスで使用する Wi-Fi に関する設定を行います。

⚙️ > [Wi-Fi] の順に選択します。

Wi-Fi：Wi-Fi 接続を有効にします。

保存済みネットワーク：保存済みネットワークを編集または削除します。

ネットワークを検索：近くの Wi-Fi ネットワークを検索します。(45 ページ [Wi-Fi ネットワークに接続する](#))

地図設定

⚙️ > [地図] の順に選択します。

地図車両アイコン：地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示：ナビゲーション時の地図の視点を設定します。

詳細度：地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

ポイントラベル：地図上に表示するポイントラベルのサイズを設定します。

ポイントの整理：地図が高倍率のときにポイントを非表示にします。

大きなナビゲーションテキスト：ナビゲーションテキストの文字を大きく表示します。

自動ズーム：地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

次の経由地のスキップの確認：ルート上の場所をスキップするときに確認メッセージを表示するか設定します。

地図管理：デバイスにインストールされている地図を管理します。(20 ページ [Outdoor Maps+ のコンテンツをダウンロードする](#))

ナビゲーション設定

⚙️ > [ナビゲーション] の順に選択します。

車両設定：現在の車両プロファイルのルート計算方法やその他の設定を行います。

オフルート再計算：ナビゲーション中にルートから外れた場合のルートの再計算について設定します。

カスタム回避：特定の道路やエリアを回避することができます。

スマート IC：ルートにスマート IC を含むかどうかを設定します。（日本国内でのみ利用可能です）

トラフィック：交通情報を利用した機能のオプションを設定します。（[39 ページ](#) [交通情報設定](#)）

注意：この機能は、2026 年 6 月現在、日本国内では利用できません。

制限モード：運転中では注意散漫になって事故を招くおそれのあるすべてのデバイス機能を無効にします。

GPS シミュレーター：デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

交通情報設定

注意：この機能は、2026 年 6 月現在、日本国内では利用できません。

メインメニューで、 > **[ナビゲーション]** > **[トラフィック]** の順に選択します。

トラフィック：交通情報の利用を有効にします。

最適なルート：最適な代替ルートを、自動または任意で使用できます。（[16 ページ](#) [ルート上の交通遅延を回避する](#)）

シミュレーションモードで現在地を設定する

屋内にいる場合や衛星信号を受信していない場合は、シミュレーションモードを使用して、シミュレートした場所をからルートを作成することができます。

1  > **[ナビゲーション]** > **[GPS シミュレーター]** の順に選択します。

2 メインメニューで、**[地図]** を選択します。

3 地図を 2 回 **タップ** して、エリアを選択します。

この場所の住所が画面の下部に表示されます。

4 場所の説明を選択します。

5 **[現在地変更]** を選択します。

安全運転支援の設定

 > **[安全運転支援]** の順に選択します。

運転者アラート：この先のゾーンに関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます。（[7 ページ](#) [安全運転支援機能](#)）

スピード超過アラート：制限速度を超えると警告します。

速度低下トーン：制限速度の低下を知らせる警告を發します。

ライド概要：ルートの終わりにライドの概要を表示します。

国境アラート：国境を越えるときに通知を表示します。

ルートのプレビュー：ナビゲーションの開始時に、ルート上の幹線道路のプレビューを表示します。

休憩プラン：長時間運転すると、休憩を促したり、次のサービスエリアを表示します。休憩の通知と休憩場所の提案は、有効 / 無効を切り替えることができます。

自動事故検出：デバイスの事故検出機能を有効にします。デバイスが事故を検出したときは、緊急連絡先に自動で通知するよう設定できます。（[7 ページ](#) [事故検出と通知](#)）

事故メッセージの送信：事故検出時に、緊急連絡先に通知メッセージを送信します。（[7 ページ](#) [事故検出と通知](#)）

ディスプレイ設定

 > **[ディスプレイ]** の順に選択します。

輝度調整スライダー：スライダーで画面輝度を調整できます。

方向：ディスプレイの表示方向を縦向きまたは横向きに設定します。**[自動]** を選択すると、デバイスの向きに応じて表示が自動で切り替わります。

デザイン：昼間または夜間の表示モードを選択できます。自動に設定すると、時刻により昼間または夜間の表示モードが自動的に切り替わります。

ディスプレイ省電力モード：バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

スクリーンショット：デバイスのスクリーンショットを撮影できます。スクリーンショットは、デバイスストレー

ジの Screenshot フォルダに保存されます。

システム設定

⚙️ > [システム] の順に選択します。

言語：画面の表示言語を変更します。

注意：テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは道路名などの地図データの言語は変更されません。

音声言語：音声案内の言語を変更します。

キーボード言語：キーボード言語を有効にします。

単位：距離項目で使用する単位を設定します。

現在時刻：デバイスの時刻を設定します。

時刻表示形式：時刻の表示方法を 12 時間、24 時間、UTC に選択できます。

位置フォーマット：地理座標に使用する座標形式と測地系を設定します。

位置フォーマット設定

注意：地図や海図が異なる位置フォーマットまたは測地系の使用を指定しているとき以外は、設定を変更しないでください。

⚙️ > [システム] > [位置フォーマット] の順に選択します。

座標形式：位置情報の座標形式を設定します。

表示形式：デバイス上での座標の表示方法を設定します。

測地系：地図の測地系を設定します。

スフェロイド：デバイスが使用している測地系を表示します。デフォルトでは、[WGS 84] が選択されています。

時刻設定

1 メインメニューで時刻を選択します。

2 次のオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して時刻を自動で設定するには、[自動] を選択します。
- 時刻を手動で設定するには、数字を上または下にドラッグして設定します。

デバイスおよびプライバシー設定

⚙️ > [デバイス] の順に選択します。

バージョン情報：ソフトウェアバージョン、ユニット ID、その他の複数のソフトウェア機能に関する情報を表示します。

画面ロック：デバイスを起動するたびにロック解除用の PIN コードの入力を要求するよう設定できます。(40 ページ [画面ロック機能を有効にする](#))

規制情報：規制のマークおよび情報を表示します。

EULA：エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注意：この情報は、システムソフトウェアの更新時または追加の地図データの購入時に必要となります。

ソフトウェアライセンス：ソフトウェアライセンス情報を表示します。

デバイスデータの報告：デバイス機能の向上のため、匿名データを共有します。

走行履歴：立ち寄った場所の履歴をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、目的地の履歴機能や myTrends の推奨ルートを使用できます。

リセット：走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

画面ロック機能を有効にする

画面ロック機能を有効にして、許可されているユーザー以外にデバイスが使用されることを防ぐことができます。画面ロックを解除してデバイスを使用するには、PIN コードの入力が必要です。

注意

Garmin サポートチームでは、画面ロック解除用の PIN コードを確認したり、ロックされたデバイスへアクセスしたりすることはできません。デバイスの使用を許可する相手には、お客様の責任で PIN コードを通知してください。



1 ⚙️ > [デバイス] > [画面ロック] の順に選択します。

2 次のオプションを選択します。

- 画面ロック機能を有効にして新しいPINコードを設定するには、**[PINコード要求]**を選択して、任意の番号を入力してください。
- PINコードを変更するには、**[PINの変更]**を選択して、PINコードを入力してください。
- 画面ロック機能を無効にするには、**[PINコード要求]**のチェックボックスからチェックを外してください。

設定を初期化する

デバイスの設定の一部のカテゴリー、またはすべての設定を工場出荷時の初期値にリセットできます。

- 1  を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリーを選択します。
- 3  > **[リセット]** の順に選択します。

データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注意：このデバイスは、Windows® 7 以降、および Mac® OS 10.7 以降のバージョンに対応しています。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリーカードを購入できます (Garmin.co.jp)。メモリーカードを使用すると、地図や POI などのファイルを保存できます。

メモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、地図やその他のデータ用に保存領域を拡張することができます。メモリーカードは家電販売店で購入できます。exFAT ファイルシステムを採用しているメモリーカードを使用してください。

- 1 デバイスのメモリーカードスロットの位置を確認します。(1 ページ [デバイス概要](#))
- 2 メモリーカードをスロットに挿入します。
- 3 カチッと音がするまで押し込みます。

デバイスを PC に接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスを PC に接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端子をデバイスの USB ポートに差し込みます。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端子を PC の USB ポートに差し込みます。
- 3 zūmo デバイスで、**[タップしてコンピュータに接続します]** を選択します。

PC とデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

PC のオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして認識されます。

PC から GPX ファイルを転送する

Apple® コンピュータでは、このデバイス上のファイルの読み取りおよび書き込みのために、Android File Transfer などの追加のサードパーティ製ソフトウェアが必要になる場合があります。

デバイスで使用するルートをすでに作成している場合は、GPX ファイルを PC からデバイスに直接転送できます。

- 1 デバイスを PC に接続します。(42 ページ [デバイスを PC に接続する](#))
デバイスはポータブルデバイスとして表示されます。
- 2 PC でファイルブラウザを開きます。
- 3 GPX ファイルを選択します。
- 4 **[編集]** > **[コピー]** の順に選択します。
- 5 デバイス上の GPX フォルダを参照します。
- 6 **[編集]** > **[貼り付け]** の順に選択します。

PC からデータを転送する

- 1 デバイスを PC に接続します。(42 ページ [デバイスを PC に接続する](#))
PC のオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして認識されます。
- 2 PC でファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 **[編集]** > **[コピー]** の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注意：リムーバブルドライブまたはリムーバブルボリュームとして認識されている場合、Garmin フォルダ内にファイルを置かないでください。
- 6 **[編集]** > **[貼り付け]** の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスが PC にリムーバブルドライブまたはリムーバブルボリュームとして認識されている場合、データの破損を防ぐため、デバイスを安全に取り外す必要があります。Windows PC にポータブルデバイスとして認識されている場合は、以下の手順を行う必要はありません。

1 次のいずれかの操作を行います。

- Windows の場合は、システムトレイの **[ハードウェアの安全な取り外し]** アイコンを選択し、デバイスを選択します。
- Apple の場合は、デバイスを選択し、**[ファイル] > [取り外し]** の順に選択します。

2 PC からケーブルを取り外します。

デバイス情報

電子ラベルの規制および準拠情報を確認する

- 1 設定メニューの最下部までスクロールします。
- 2 [デバイス] > [規制情報] の順に選択します。

仕様

防水性能	IEC 60529 IPX7 *
動作温度範囲	-15° ~ 55°C
充電温度範囲	0 ~ 45°C
電源入力 (車両電源ケーブル、自動二輪車、または外部電源)	DC 12 ~ 18V
バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧範囲	3.5 ~ 4.2V

* 防水性能について、詳しくは [Garmin.com/waterrating](https://www.garmin.com/waterrating) をご参照ください。

充電要件

充電器から供給される電力は、無線機器に必要な最小 4.5 ワットから、最大充電速度を達成するための最大 12 ワットの範囲である必要があります。

デバイスを充電する

注意：この Class III 製品は、LPS 電源から電力を供給します。

次のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電します。

- デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。

注意

デバイスを車両電源ケーブルに直接接続しないでください。

- 別売の電源アダプターを使用してデバイスを家庭用コンセントなどに接続します。
家庭用または業務用に適した Garmin 純正または正規認証の AC-DC アダプターを、Garmin の販売店または [Garmin.co.jp](https://www.garmin.co.jp) から購入できます。サードパーティ製のアダプターを使用すると、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin オンラインサポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 (FAQ)、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.Garmin.com を参照してください。

地図とソフトウェアの更新

ナビゲーション機能を最大限に活用するには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図を更新すると、デバイスで利用可能な道路や場所の変更に関する新着情報が取得できます。地図を最新の状態に保つことで、最近追加された場所情報を利用し、より正確なルート探索が可能になります。地図の更新ではデータ量が大きいいため、更新完了まで数時間かかる場合があります。

ソフトウェアを更新すると、デバイスの機能および操作性が変更または向上します。ソフトウェア更新ではデータ量が小さいため、数分で更新が完了します。

次の 2 つの方法でデバイスを更新できます。

- デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新します (推奨)。デバイスを PC に接続する必要がないため、タイミングよく更新できます。
- デバイスを PC に接続し、Garmin Express を使用して更新します。 (Garmin.com/express)



Wi-Fi ネットワーク経由で地図とソフトウェアを更新する

注意

地図やソフトウェアの更新では、デバイスにデータ量の大きいファイルのダウンロードが求められる場合があります。ご利用のインターネットサービスプロバイダの通常の日間データ制限や料金が適用されます。データ制限や料金の詳細については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

デバイスをインターネットにアクセス可能な Wi-Fi ネットワークに接続して、地図やソフトウェアを更新します。デバイスを PC に接続しなくても最新の状態に保つことができます。

1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します。 ([45 ページ Wi-Fi ネットワークに接続する](#))

Wi-Fi ネットワーク接続中は、デバイスは利用可能な更新がないか自動でチェックします。利用可能な更新がある場合は、メインメニューの  アイコン上に  が表示されます。

2 > **[更新]** の順に選択します。

デバイスが利用可能な更新がないかチェックを開始します。利用可能な更新がある場合は、地図またはソフトウェアの下に **[更新が利用可能です]** が表示されます。

3 次のオプションを選択します。

- すべての利用可能な更新をインストールするには、**[すべてインストール]** を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**[地図]** > **[すべてインストール]** の順に選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**[ソフトウェア]** > **[すべてインストール]** の順に選択します。

4 使用許諾契約を読み、**[同意]** を選択して使用許諾契約に同意します。

注意：規約に同意しない場合は **[拒否]** を選択し、更新プロセスを停止します。更新をインストールするには規約への同意が必要です。

5 付属の USB ケーブルでデバイスを外部電源に接続し、**[継続]** を選択します。 ([44 ページ デバイスを充電する](#))

電源出力が 2A 以上の USB 充電器の使用を推奨します。スマートフォン、タブレット、ポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。

6 更新プロセスが完了するまで、外部電源との接続と Wi-Fi ネットワークの接続圏内を維持します。

ヒント：地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express で地図を再度更新する必要があります。

Wi-Fi ネットワークに接続する

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークへの接続を促されます。設定メニューから Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

1 > **[Wi-Fi]** の順に選択します。

2 必要に応じて、**[Wi-Fi]** を選択して Wi-Fi を有効にします。

3 [ネットワークを検索] を選択します。

近くの Wi-Fi ネットワークがリストで表示されます。

4 ネットワークを選択します。

5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、[完了] を選択します。

ネットワークへの接続が完了すると、接続済みのネットワーク名が保存済みネットワークの一覧に表示されます。デバイスがネットワークの接続圏内に入ると、自動で再接続します。

Garmin Express で地図とソフトウェアを更新する

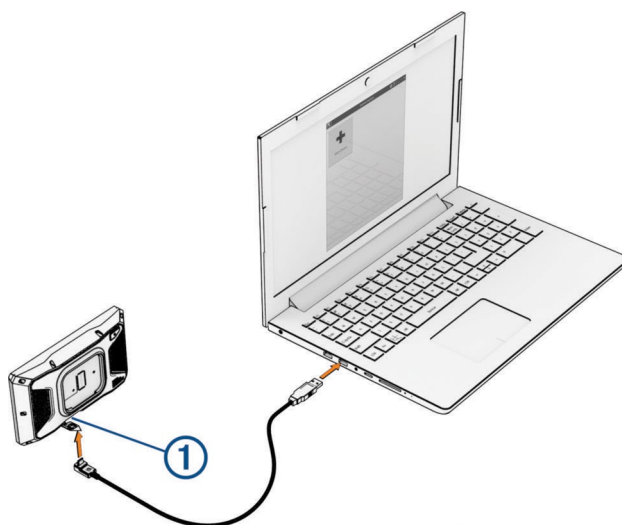
Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図データや更新ソフトウェアをダウンロードしてインストールできます。

1 PC に Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、Garmin.com/express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします。

2 PC で Garmin Express を起動します。

3 USB ケーブルを使用して、デバイスを PC に接続します。

ケーブルの小さい方の端子は zūmo デバイスの USB ポート①に、大きい方の端子は PC の利用可能な USB ポートに差し込みます。



4 zūmo デバイスで、[タップしてコンピュータに接続します] を選択します。

5 Garmin Express で、[デバイスの追加] をクリックします。

Garmin Express がデバイスを読み込み、デバイス名とシリアル番号が表示されます。

6 [デバイスの追加] をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express に追加します。

セットアップが完了すると、Garmin Express の画面上にデバイスで利用可能な更新が表示されます。



7 次のオプションを選択します。

- 更新データをすべてインストールするには、[すべてインストール] をクリックします。
- 更新データの一部を選択してインストールするには、[詳細の表示] をクリックし、更新したいデータの [インストール] をクリックします。

Garmin Express アプリケーションからデバイスに更新データが送信されます。地図の更新ではデータ量が大きいので、更新完了まで数時間かかる場合があります。インターネット回線の通信速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注意：地図の更新データ量がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、microSD カードをデバイスに挿入して保存領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります。(42 ページ メモ

リーカードを挿入する)

8 画面に表示される指示に従って操作し、インストールを完了します。

たとえば、更新プロセス進行中に、Garmin Express アプリケーションからデバイスの接続解除と再接続を指示される場合があります。

お取り扱い上の注意事項

注意

デバイスを落とさないようにしてください。

高温になるおそれがある場所でデバイスを長期間保管しないでください。デバイスの故障の原因となる可能性があります。

タッチスクリーンを傷つけるおそれがあるため、タッチスクリーンの操作に硬いものや先のとがったものは絶対に使用しないでください。

アウターケースのクリーニング

注意

化学洗剤や溶剤はデバイスのプラスチック部を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

- 1 薄めた中性洗剤を含ませた布で、デバイスのアウターケースを拭きます。タッチスクリーンには触れないようにしてください。
- 2 乾いた布で水分をふき取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔なリントフリークロスを使用します。
- 2 必要に応じて、水で軽く湿らせます。
- 3 湿らせたリントフリークロスを使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。
- 4 タッチスクリーンをリントフリークロスで優しく拭きます。

デバイスを再起動する

デバイスがフリーズするなどして応答しない場合は、次の手順でデバイスを再起動してください。


電源ボタンを 12 秒間長押しします。

トラブルシューティング

衛星信号を受信できません

- シミュレーションモードがオフになっていることを確認してください。(38 ページ [ナビゲーション設定](#))
- デバイスを車庫の外に持ち出し、高いビルや木から離れてください。
- 数分間静止してください。

デバイスとスマートフォンが接続できません

-  > [スマートフォン] の順に選択し、スマートフォンがデバイスとペアリングされていることを確認してください。
- スマートフォンで Bluetooth 接続をオンに設定し、デバイスの 10m(33ft.)以内に近づけてください。
- デバイスがお使いのスマートフォンに対応していることを確認してください。
詳細については、Garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングしなおします。
再ペアリングを実行するには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除(31 ページ [Bluetooth デバイスの接続をオフにする](#))してから、ペアリングを開始(29 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))してください。

デバイスから緊急連絡先に連絡できません

⚠警告

このデバイスでは、緊急連絡先にユーザーの位置情報を送信することができます。これは補助的な機能のため、本機能に依存せず、万が一の事故に備えて他の連絡手段を用意してください。Tread アプリがユーザーに代わって救急医療機関等への連絡や救助の要請を行うことはありません。

緊急連絡先への連絡が行われていない場合は、以下の方法を試してください。

- zūmo デバイスが、付属のマウントや USB ケーブルなどを使用して互換性のある外部電源に接続されていることを確認します。(4 ページ [取り付け方法](#))
- zūmo デバイスが、Bluetooth 無線技術を使用してスマートフォンの Tread アプリに接続されていることを確認します。(29 ページ [スマートフォンとペアリングする](#))
- スマートフォンがデータ通信を利用できる環境にあることを確認します。
- zūmo デバイスで **[自動事故検出]** 機能と **[事故メッセージの送信]** 機能が有効になっていることを確認します。(39 ページ [安全運転支援の設定](#))
- スマートフォンの Tread アプリで緊急連絡先の設定が完了していることを確認します。(8 ページ [緊急連絡先を設定する](#))
- 事故の連絡先として登録されている端末がテキストメッセージまたはメールを受信できることを確認します。

バッテリーの稼働時間を長くするには

- ディスプレイの輝度を低くしてください。(39 ページ [ディスプレイ設定](#))
- ディスプレイのタイムアウトを短く設定してください。(39 ページ [ディスプレイ設定](#))
- 音量を下げてください。(2 ページ [音量を調整する](#))
- 必要のないときは Wi-Fi 接続をオフにします。(38 ページ [Wi-Fi 設定](#))
- 必要のないときはデバイスを節電モードにします。(1 ページ [デバイスの電源をオンまたはオフにする](#))
- 極端に高温または寒冷な環境を避けてデバイスを使用、保管してください。
- デバイスを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

デバイスが、PC のポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません

- 1 PC から USB ケーブルを取り外します。
- 2 デバイスの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルをデバイスおよび PC の USB ポートに接続してください。
ヒント：USB ケーブルは、USB ハブではなく、PC の USB ポートに接続する必要があります。

デバイスが自動的にオンになり、MTP モードまたは USB mass storage モードになります。PC とデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

注意：お使いの PC で複数のネットワークドライブが割り当てられている場合、Windows が Garmin ドライブにドライブレターを割り当てる際に不具合が生じる可能性があります。ドライブレター割り当てについての詳細は、オペレーティングシステムのヘルプを参照してください。

商標について

本操作マニュアルの内容の一部または全部を Garmin の書面による承諾なしに転載または複製することはできません。本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。製品に関する最新・補足情報については、Garmin.co.jp にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴ, zūmo, inReach, TracBack, Tread は、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。Garmin Adventurous Routing, Garmin Catalyst, Garmin Express, Garmin Messenger, Garmin Performance Package, myTrends は、Garmin Ltd. またはその子会社の商標です。Garmin の許可を得ずに使用することはできません。

Apple® および Mac® は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。BLUETOOTH® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。microSD® および microSD ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

